

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特許公報(B2)

(11) 特許番号

特許第6776231号
(P6776231)

(45) 発行日 令和2年10月28日(2020.10.28)

(24) 登録日 令和2年10月9日(2020.10.9)

(51) Int.Cl.

G06Q 30/06 (2012.01)

F 1

G06Q 30/06 308

請求項の数 12 (全 45 頁)

(21) 出願番号 特願2017-523193 (P2017-523193)
 (86) (22) 出願日 平成27年7月17日 (2015.7.17)
 (65) 公表番号 特表2017-521807 (P2017-521807A)
 (43) 公表日 平成29年8月3日 (2017.8.3)
 (86) 國際出願番号 PCT/US2015/040938
 (87) 國際公開番号 WO2016/011371
 (87) 國際公開日 平成28年1月21日 (2016.1.21)
 審査請求日 平成30年7月9日 (2018.7.9)
 (31) 優先権主張番号 14/335,634
 (32) 優先日 平成26年7月18日 (2014.7.18)
 (33) 優先権主張国・地域又は機関
米国(US)

(73) 特許権者 517018949
マーク・ヴィ・ディック
アメリカ合衆国・ミネソタ・55416・
ミネアポリス・ウェスト・レイク・ストリ
ート・3208・スイート・3
(74) 代理人 100108453
弁理士 村山 靖彦
(74) 代理人 100110364
弁理士 実広 信哉
(74) 代理人 100133400
弁理士 阿部 達彦
(72) 発明者 マーク・ヴィ・ディック
アメリカ合衆国・ミネソタ・55416・
ミネアポリス・ウェスト・レイク・ストリ
ート・3208・スイート・3

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 売手ファイナンスのあるオンラインマーケット

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

売手ファイナンスされた取引に対するオンラインマーケットシステムであつて、
少なくとも1つの処理デバイスと、
前記少なくとも1つの処理デバイスによって実行されたときに、前記少なくとも1つの処
理デバイスがオンラインマーケットを生成することを引き起こす命令を記憶する少なくと
も1つのコンピュータ可読記憶デバイスと
を備え、前記オンラインマーケットは、

前記オンラインマーケットの複数の売手ユーザから複数の取引オファリングの説明を
受信し、前記取引オファリングは複数の支払いについてある時間にわたり前記売手ユーザ
から利用可能であり、

複数のリストティングを生成し、前記リストティングの各々は前記複数の取引オファリング
の前記説明のうちの1つを含み、前記複数のリストティングは、複数の異なる取引オファ
リングカテゴリにまたがる取引オファリングに関連付けられ、

前記複数のリストティングのうちの少なくともいくつかを買手ユーザに提示し、

前記売手ユーザから前記買手ユーザへの前記取引オファリングの移転について前記買
手ユーザと前記売手ユーザとの間の拘束力のある契約の交渉を円滑にし、前記拘束力のあ
る契約は、支払い条件を定め、前記支払い条件は、ある期間にわたり前記買手ユーザによ
つて前記売手ユーザになされるべき少なくとも2つの支払いを含む価格および売手ファイ
ナンス条件を含み、

前記買手ユーザおよび前記売手ユーザに、合意に達したことを通知し、
前記支払い条件に従って前記買手ユーザから第1の支払いの受領を確認し、
前記売手ファイナンス条件への前記売手ユーザの順守を監視し、
前記期間にわたる前記支払い条件への前記買手ユーザの順守を監視し、
前記売手ユーザおよび前記買手ユーザの前記順守に少なくとも一部は基づき前記オンラインマーケット内の評判データを更新し、
前記評判データは、
別のユーザからの前記ユーザの以前の取引のうちの少なくとも1つの取引の少なくとも1つの評価と、
前記ユーザの以前の取引の条件への前記ユーザの順守に関する履歴データと、
前記ユーザの検証レベルに関する情報と
を含む、評判要因と、
前記ユーザの以前の取引の件数を含む、前記評判要因のうちの少なくともいくつかに基づき計算された信頼スコアと
を含む、
オンラインマーケットシステム。

【請求項2】
オンラインマーケットにおける売手ファイナンスを伴うオンライン取引を円滑にする方法であって、

少なくとも1つのコンピューティングデバイスが、前記オンラインマーケットの複数の売手ユーザから複数の取引オファリングの説明を受信するステップであって、前記取引オファリングは少なくとも2つの支払いについてある時間にわたり前記売手ユーザから購入のために利用可能である、ステップと、

前記少なくとも1つのコンピューティングデバイスを使用して複数のリストティングを生成するステップであって、前記リストティングの各々は前記複数の取引オファリングの前記説明のうちの1つを含み、前記複数のリストティングは、複数の異なる取引オファリングカテゴリーにまたがる取引オファリングに関連付けられる、ステップと、

前記少なくとも1つのコンピューティングデバイスが、前記複数のリストティングのうちの少なくともいくつかを買手ユーザに提示するステップと、

前記少なくとも1つのコンピューティングデバイスが、前記売手ユーザから前記買手ユーザへの前記取引オファリングの移転について前記買手ユーザと前記売手ユーザとの間の拘束力のある契約の交渉を円滑にするために、前記拘束力のある契約において定められるべき支払い条件を提供するステップであって、前記支払い条件は、ある期間にわたり前記買手ユーザによって前記売手ユーザになされる少なくとも2つの支払いを含む価格および売手ファイナンス条件を含む、ステップと、

前記少なくとも1つのコンピューティングデバイスが、買手ユーザおよび売手ユーザに対する信頼プロファイルを生成して、記憶するステップであって、前記信頼プロファイルは買手ユーザと売手ユーザの両方が売手ファイナンスを伴うオンライン取引を行う前に互いの信頼性を評価することを可能にするように構成されている、ステップとを含み、

前記信頼プロファイルは、
評判データであって、

別のユーザからの前記ユーザの以前の取引のうちの少なくとも1つの取引の少なくとも1つの評価と、

前記ユーザの以前の取引の条件への前記ユーザの順守に関する履歴データと、
前記ユーザの検証レベルに関する情報と
を含む、評判要因と、
前記ユーザの以前の取引の件数を含む、前記評判要因のうちの少なくともいくつかに基づき計算された信頼スコアと
を含む、評判データと、
前記ユーザによって獲得された取引コインの量を表す取引コイン要素と

10

20

30

40

50

を含む、方法。

【請求項 3】

前記売手ファイナンス条件は、第三者ファイナンスを伴い、前記取引の完了後に、前記売手ユーザは、1回限りの全額支払いを取得し、前記第三者は、ある時間にわたり前記買手ユーザから前記少なくとも2つの支払いを受け取る、請求項2に記載の方法。

【請求項 4】

前記売手ファイナンス条件は、第三者ファイナンスを伴い、少なくとも1人の第三者は、前記買手ユーザに代わって前記売手ユーザに前記少なくとも2つの支払いを行い、前記買手ユーザは、前記支払い条件と異なる第三者ファイナンス条件に従って前記少なくとも1人の第三者に返金する、請求項2に記載の方法。

10

【請求項 5】

前記少なくとも1つのコンピューティングデバイスが、前記買手ユーザおよび前記売手ユーザから取引の評価を受信するステップと、

前記少なくとも1つのコンピューティングデバイスが、前記評価に少なくとも一部に基づき前記信頼プロファイルを更新するステップと
をさらに含む、請求項2に記載の方法。

【請求項 6】

リストティングを買手ユーザに提示するステップは、価格、支払額、支払い頻度、および支払い回数を含みかつ割賦償却スケジュールをさらに含む、提案された売手ファイナンス条件を前記少なくとも1つのコンピューティングデバイスが、提示するステップを含む、請求項2に記載の方法。

20

【請求項 7】

前記少なくとも1つのコンピューティングデバイスが、買手ユーザと売手ユーザとの間の連絡先情報を、拘束力のある契約が締結された後にのみ連絡するステップをさらに含む、請求項2に記載の方法。

【請求項 8】

前記少なくとも1つのコンピューティングデバイスが、取引を行うオファーを受け取る前に買手ユーザからホールド支払いを受信するステップと、前記少なくとも1つのコンピューティングデバイスが、ホールド期間の間、リストティングを保留にするステップとをさらに含む、請求項2に記載の方法。

30

【請求項 9】

前記信頼スコアは、取引関係スコア、平均評価、および検証レベルスコアに基づく、請求項2に記載の方法。

【請求項 10】

売手ファイナンスを伴うオンライン取引を円滑にする方法であって、

少なくとも1つのコンピューティングデバイスが、外部口케ーションから、売手ユーザによってオファーされている取引オファリングを受信するステップと、

前記少なくとも1つのコンピューティングデバイスが、買手ユーザと前記売手ユーザとの間の拘束力のある契約の交渉を、前記売手ユーザから前記買手ユーザへの前記取引オファリングの移転のために円滑にするために、前記拘束力のある契約において定められるべき支払い条件を提供するステップであって、前記支払い条件は、ある期間にわたり前記買手ユーザによって前記売手ユーザになされる少なくとも2つの支払いを含む価格および売手ファイナンス条件を含む、ステップと
を含む、方法。

40

【請求項 11】

前記少なくとも1つのコンピューティングデバイスが、前記拘束力のある契約の確認書を前記外部口ケーションに送信するステップ
をさらに含む、請求項10に記載の方法。

【請求項 12】

50

前記少なくとも1つのコンピューティングデバイスが、買手ユーザおよび売手ユーザに対する信頼プロファイルを生成し、記憶するステップであって、前記信頼プロファイルは買手ユーザと売手ユーザの両方が売手ファイナンスを伴うオンライン取引を行う前に互いの信頼性を評価することを可能にするように構成されている、ステップをさらに含む、請求項11に記載の方法。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本出願は、2015年7月17日にPCT国際特許出願として出願されており、また、その開示の全体が参照により本明細書に組み込まれている、2014年7月18日に出願された米国実用特許出願第14/335,634号の優先権を主張する。 10

【背景技術】

【0002】

マーケット(Marketplace)は、商品およびサービスの交換のためのフォーラム(forum)を提供する。マーケットは、購入または販売に関心を持つ人々がお互いの利益になる取引を求めて集うことができる共通の会合場所を提供することによって商品およびサービスの交換を行いやすくする。

【0003】

物理的なマーケットに加えて、インターネットは、買手および売手がオンラインマーケットに集まることも可能にする。オンラインマーケットは、物理的なマーケットに勝るいくつかの利点を有する。利点の1つは、買手と売手とが同じ場所に物理的にいなくてもよいという点である。別の利点は、オンラインマーケットは、非常に多数の人々を集めて、買手および売手がお互いの利益になる取引を見つけることができる確率を高め得る点である。 20

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

大まかに言えば、本開示は、取引オファリング(transaction offerings)が売手ファイナンス(seller-financing)で利用可能にされるオンラインマーケットを対象とする。可能な一構成において、非限定的な例により、オンラインマーケットは、売手ファイナンス条件を含む、取引条件を含む取引オファリングに対するリストティングを含む。様々な態様が、本開示において説明されており、これは、限定はしないが、次の態様を含む。 30

【課題を解決するための手段】

【0005】

一態様は、オンラインマーケットシステムであって、少なくとも1つの処理デバイスと、少なくとも1つの処理デバイスによって実行されたときに、少なくとも1つの処理デバイスが売手ファイナンスされた取引に対するオンラインマーケットを生成することを引き起こすデータ命令を記憶する少なくとも1つのコンピュータ可読記憶デバイスとを備える、オンラインマーケットシステムであり、オンラインマーケットは、少なくとも2つの支払いについてある時間にわたり売手から利用可能である取引オファリングの複数のリストティングであって、複数の異なる取引オファリングカテゴリにまたがる取引オファリングを含む、取引オファリングの複数のリストティングと、オンラインマーケットのユーザに対する信頼プロファイル(trust profile)を生成し、記憶するように構成されている評判エンジンであって、信頼プロファイルは買手と売手の両方が売手ファイナンスされた取引を行う前に互いの信頼性を評価することを可能にするように構成されている、評判エンジンと、買手および売手とインタラクションして売手ファイナンスされた取引の条件を定めるように構成されている取引エンジンと、買手からある時間にわたり支払いを受け取ることを含む売手ファイナンスされた取引の条件の順守を監視するように構成されている支払いエンジンとを備える。 40

【0006】

別の態様は、売手ファイナンスされた取引に対するオンラインマーケットシステムであり、マーケットシステムは少なくとも1つの処理デバイスと、少なくとも1つの処理デバイスによって実行されたときに、少なくとも1つの処理デバイスがオンラインマーケットを生成することを引き起こす命令を記憶する少なくとも1つのコンピュータ可読記憶デバイスとを備え、オンラインマーケットは、オンラインマーケットの複数の売手ユーザから複数の取引オファリングの説明を受信し、取引オファリングは複数の支払いについてある時間にわたり売手ユーザから利用可能であり、複数のリストイングを生成し、リストイングの各々は複数の取引オファリングの説明のうちの1つを含み、複数のリストイングは、複数の異なる取引オファリングカテゴリにまたがる取引オファリングに関連付けられ、複数のリストイングのうちの少なくともいくつかを買手ユーザに提示し、売手ユーザから買手ユーザへの取引オファリングの移転について買手ユーザと売手ユーザとの間の拘束力のある契約の交渉を円滑にし、拘束力のある契約は、支払い条件を定め、支払い条件は、ある期間にわたり買手ユーザによって売手ユーザになされるべき少なくとも2つの支払いを含む価格および売手ファイナンス条件を含む。
10

【0007】

さらに別の態様は、オンラインマーケットにおける売手ファイナンスを伴うオンライン取引を円滑にする方法であり、方法はオンラインマーケットの複数の売手ユーザから複数の取引オファリングの説明を受信するステップであって、取引オファリングは少なくとも2つの支払いについてある時間にわたり売手ユーザから購入のために利用可能である、ステップと、少なくとも1つのコンピューティングデバイスを使用して複数のリストイングを生成するステップであって、リストイングの各々は複数の取引オファリングの説明のうちの1つを含み、複数のリストイングは、複数の異なる取引オファリングカテゴリにまたがる取引オファリングに関連付けられる、ステップと、複数のリストイングのうちの少なくともいくつかを買手ユーザに提示するステップと、売手ユーザから買手ユーザへの取引オファリングの移転について買手ユーザと売手ユーザとの間の拘束力のある契約の交渉を円滑にするステップであって、拘束力のある契約は、支払い条件を定め、支払い条件は、ある期間にわたり買手ユーザによって売手ユーザになされる少なくとも2つの支払いを含む価格および売手ファイナンス条件を含む、ステップとを含む。
20

【0008】

さらなる態様は、売手ファイナンスを伴うオンライン取引を円滑にする方法であり、方法は少なくとも1つのコンピューティングデバイスを使用して、売手からリストイングを受信するステップであって、リストイングは、製品の説明と、製品の写真と、少なくとも価格、月々の支払額、および月々の支払いに対する期間を含む、提案された売手ファイナンス条件とを含む、ステップと、リストイングを買手に提示するステップと、売手の信頼プロファイルを買手に提示するステップであって、信頼プロファイルは、評判データであって、別のユーザからの売手の以前の取引のうちの少なくとも1つの少なくとも1つの評価と、売手の以前の取引の条件への売手の順守に関する履歴データと、売手の検証レベルに関する情報を含む評判要因と、売手の以前の取引の件数を含む、評判要因のうちの少なくともいくつかに基づき計算された信頼スコアとを含む、評判データと、売手によって獲得された取引コインの量を表す取引コイン要素とを含む、ステップと、提案された売手ファイナンス条件に従って買手から製品を購入する取引を行うオファーを受信するステップと、オファーを売手に提示するステップと、買手の信頼プロファイルを売手に提示するステップと、少なくとも1つのコンピューティングデバイスを使用して売手と買手との間の最終的な売手ファイナンス条件による拘束力のある契約を定めることに関する受諾を売手から受信するステップと、少なくとも1つのコンピューティングデバイスを使用して契約の売手ファイナンス条件に対する売手および買手の順守を管理するステップと、契約の売手ファイナンス条件に対する売手および買手の順守に基づき売手および買手の信頼プロファイルを更新するステップとを含む。
30
40

【0009】

さらなる態様は、売手ファイナンスを伴うオンライン取引を円滑にする方法であり、方
50

法は少なくとも1つのコンピューティングデバイスを使用して、売手からリストティングを受信するステップであって、リストティングは、製品の説明と、製品の写真と、少なくとも価格、支払額、支払い頻度、および支払い回数を含む、提案された売手ファイナンス条件とを含む、ステップと、リストティングを買手に提示するステップと、売手の信頼プロファイルを買手に提示するステップであって、信頼プロファイルは、評判データであって、別のユーザからの売手の以前の取引のうちの少なくとも1つの少なくとも1つの評価と、売手の以前の取引の条件への売手の順守に関する履歴データと、売手の検証レベルに関する情報を含む評判要因と、売手の以前の取引の件数を含む、評判要因のうちの少なくともいくつかに基づき計算された信頼スコアとを含む、評判データと、売手によって獲得された取引コインの量を表す取引コイン要素とを含む、ステップと、提案された売手ファイナンス条件に従って買手から製品を購入する取引を行うオファーを受信するステップと、オファーを売手に提示するステップと、買手の信頼プロファイルを売手に提示するステップと、少なくとも1つのコンピューティングデバイスを使用して売手と買手との間の最終的な売手ファイナンス条件による拘束力のある契約を定めることに関する受諾を売手から受信するステップと、少なくとも1つのコンピューティングデバイスを使用して契約の売手ファイナンス条件に対する売手および買手の順守を管理するステップと、契約の売手ファイナンス条件に対する売手および買手の順守に基づき売手および買手の信頼プロファイルを更新するステップとを含む。10

【0010】

別の態様は、取引を円滑にするためのシステムであり、このシステムは少なくとも1つの処理デバイスと、少なくとも1つの処理デバイスによって実行されたときに、少なくとも1つの処理デバイスが売手ファイナンスされた取引に対するオンラインマーケットを生成することを引き起こすデータ命令を記憶する少なくとも1つのコンピュータ可読記憶デバイスとを備え、オンラインマーケットは、外部口케ーションから取引オファリングを受信し、買手ユーザおよび売手ユーザとインタラクションして取引オファリングに対する支払い条件を定めるように構成されている取引エンジンであって、支払い条件は、ある期間にわたり買手ユーザによって売手ユーザになされる少なくとも2つの支払いを含む価格および売手ファイナンス条件を含む、取引エンジンと、買手ユーザからある時間にわたり支払いを受け取ることを含む支払い条件の順守を監視するように構成されている支払いエンジンとを備える。20

【0011】

さらに別の態様は、売手ファイナンスを伴うオンライン取引を円滑にする方法であり、方法は外部口ケーションから、売手ユーザによってオファーされている取引オファリングを受信するステップと、買手ユーザと売手ユーザとの間の拘束力のある契約の交渉を、売手ユーザから買手ユーザへの取引オファリングの移転のために円滑にするステップであって、拘束力のある契約は、支払い条件を定め、支払い条件は、ある期間にわたり買手ユーザによって売手ユーザになされる少なくとも2つの支払いを含む価格および売手ファイナンス条件を含む、ステップとを含む。30

【図面の簡単な説明】

【0012】

【図1】オンラインマーケットを提供するためのシステムの一例を示す概略ブロック図である。

【図2】本開示の態様を実装するために使用できるコンピューティングデバイスの例示的なアーキテクチャを示す図である。

【図3】図1のシステムを使用して取引を完了する例示的な方法を示すフローチャートである。

【図4】図1のサーバのプログラムモジュールの例示的なアーキテクチャを示す図である。

【図5】図1のデータベースの例示的なアーキテクチャを示す図である。

【図6】図1のオンラインマーケットのためのユーザインターフェースを生成する例示的

50

50

50

40

な方法を示すフローチャートである。

【図7】図1のシステムを使用してリストイングを閲覧し、検索する例示的な方法を示すフローチャートである。

【図8】図1のシステムを使用してユーザーアカウントを作成する例示的な方法を示すフローチャートである。

【図9】取引オファリングのための図1のオンラインマーケット上にリストイングを作成する例示的な方法を示すフローチャートである。

【図10】図1のシステム内のリストイングのウォンテッドカテゴリ(wanted category)を使用する別の例示的な方法を示すフローチャートである。

【図11】図1のシステムを使用して取引について合意する例示的な方法を示すフローチャートである。

【図12】図1のシステムを使用して取引を処理する例示的な方法を示すフローチャートである。

【図13】図1のシステムを使用してユーザを評価する例示的な方法を示すフローチャートである。

【図14】図1のシステムを使用して取引のための取引コインを生成し、更新する例示的な方法を示すフローチャートである。

【図15】図1のシステムを使用してユーザ信頼スコアを計算する例示的な方法を示すフローチャートである。

【図16】図4の近傍エンジンおよびユーザインターフェースエンジンのいくつかの実施形態によって生成される近傍(neighborhood)インターフェースの例示的なレイアウトを示すブロック図である。

【発明を実施するための形態】

【0013】

様々な実施形態が、図面を参照しつつ詳細に説明され、そこでは、いくつかの図面全体を通して類似の参考番号は、類似の部分およびアセンブリを表している。様々な実施形態への参照は、付属する請求項の範囲を制限しない。それに加えて、本明細書で述べられている例は、制限的であることを意図されておらず、付属の請求項に対する多くの可能な実施形態のうちのいくつかを単に述べているだけである。

【0014】

本開示は、複数の異なるタイプの取引オファリングに対する売手ファイナンスされた、オンラインマーケットに関連付けられているシステムおよび方法に関する。取引オファリングの例は、商品およびサービスを含む。商品の例は、製品および生活必需品を含む。少なくともいくつかの実施形態において、オンラインマーケットは、ユーザが販売またはリースしたい取引オファリングに対する広告をユーザが投稿することを可能にする。同様に、いくつかの実施形態において、オンラインマーケットは、ユーザが取得(またはリース)したい取引オファリングに対するリクエストをユーザが投稿することを可能にする。

ユーザが販売または取得することを望んでいる取引オファリングの説明を投稿することに加えて、マーケットは、ユーザが取引オファリングに対する支払い条件をも指定することを可能にする。支払い条件の例は、価格、頭金の金額、金利、支払い回数、支払い頻度、および初回支払日を含む。マーケットは、配送優先条件、および取り置きが利用可能かどうかなどの、他の条件もユーザが指定することを可能にする。それに加えて、いくつかの実施形態において、マーケットは、ユーザが取引オファリングを別のユーザに供与することも可能にする。

【0015】

マーケットは、また、取引オファリングに対する潜在的取引の条件を指定するオファーおよびカウンターオファーをユーザ同士が行うことを可能にするように少なくともいくつかの実施形態において動作する。本明細書で説明されている例の多くは、単一の取引オファリングに対する取引に関係しているが、いくつかの実施形態は、1人または複数のユーザからの取引オファリングをバンドルするように動作する。本明細書の様々な説明は、バ

10

20

30

40

50

ンドルされた取引、さらには単一の取引オファリングを伴う取引に適用可能であることを理解されたい。

【0016】

マーケットは、ユーザに関するプロファイル情報を維持するように動作する。プロファイル情報の例は、成功裏に完了したかまたは不成功であった以前の取引の件数、以前の取引のレビューおよび評価、ならびにユーザの検証レベルを指示するバッジを含む。ユーザの検証レベルは、ユーザがマーケットと共有していた識別情報の量に基づく。少なくともいくつかの実施形態において、マーケットは、様々な異なるタイプのプロファイル情報を組み合わせてユーザに対する信頼ストアを計算するように動作する。いくつかの実施形態において、評判データを含むプロファイル情報は、信頼プロファイルに表示される。いくつかの実施形態において、信頼プロファイルは、信頼スコアを含む。いくつかの実施形態において、信頼プロファイルは、検証レベルを含む。いくつかの実施形態において、信頼プロファイルは、取引コイン要素を含む。信頼プロファイルの例は、図16に示されているネイバープロファイル(neighbor profile)1148、および本明細書で説明されているような他のユーザプロファイルを含む。いくつかの実施形態において、マーケットは、検証プロセスまたは取引コインの収集などのいくつかのプロセスを完了させるようユーザを促す様々なゲーム風の特徴も備える。たとえば、ユーザは、特定のプロセス、取引などを成功裏に完了させたことに対するバッジまたは他の形態の賞を獲得することができる。10

【0017】

マーケットは、少なくともいくつかの実施形態において、ユーザが他のユーザに関するプロファイル情報をそのような他のユーザと取引を行う前に見ることを可能にするユーザインターフェースを生成するように動作する。マーケットは、ユーザがそのユーザとの取引に基づき別のユーザに対する評価を提供することを可能にするユーザインターフェースを生成するようにも動作する。少なくともいくつかの実施形態において、マーケットは、ユーザが別のユーザに対する単一の評価を提供することのみを可能にする。この方式で、マーケットは、他の1人のユーザと複数の偽造の取引を行うことによって平均的な評価をユーザが操作することを防ぎ得る。20

【0018】

ユーザが、互いに取引を行うことに合意した後に、マーケットは、少なくともいくつかの実施形態において、ユーザが支払いを行い、支払いを受けることを可能にするように動作する。少なくともいくつかの実施形態において、マーケットは、支払いが正常に行われているかどうかを記録し、追跡する。それに加えて、マーケットは、支払いの期日を知らせるリマインダーを生成することができる。30

【0019】

マーケットは、少なくともいくつかの実施形態において、ユーザが以前に行った取引の支払い条件を変更するオファーを送信し、受信することを可能にするユーザインターフェースを生成するようにも動作する。たとえば、ユーザは、支払いの開始を遅らせるのと引き換えに金利を高くすることを提案することができる。

【0020】

マーケットにおいて広告されている取引オファリングに関係する取引を管理することに加えて、いくつかの実施形態において、マーケットは、オンラインで行われるか、またはさらには過去に行われた、取引を管理する。たとえば、第1のユーザが、前回の購入について第2のユーザに借り(たとえば、\$1000)があり得る。次いで、第1のユーザおよび第2のユーザは、次いで、マーケットを使用してなされる支払い条件(たとえば、月払いで\$100の10回払い)に合意するものとしてよい。この方式で、マーケットは、当事者間の支払いインターフェースとして機能し得る。有益なことに、マーケットは、支払いの履行を管理し、追跡し、ユーザのプロファイル情報に関連付けることができる。マーケットは、また、賃貸料支払いまたは複数回に分けてなされる支払いの他の流れを行い、受け取るためにも使用され得る。少なくともいくつかの実施形態において、マーケットは、複数の司法管轄区域における様々な地域法に従う支払いリマインダーおよび不履行通知を送信するよう4050

に構成される。有益なことだが、マーケットは、支払いを徴収する当事者が、たとえば、債務者または貸借人との友好関係を維持することができる一方で支払いポリシーを強制する働きをし得る。

【0021】

それに加えて、少なくともいくつかの実施形態において、マーケットは、第三者ファイナンスも可能にする。たとえば、銀行または他の貸手などの第三者支払人は、オファーリングの価格の一部または全部を提供し得る。第三者支払人は、支払いを行うか、または買手などの別の応答ユーザの代わりに取引オファーリングのリストティングユーザに対して支払いを行うか、または1つもしくは複数の支払いを行うことに合意することができる。代替的に、第三者支払人は、応答ユーザが次いで取引条件に従ってリストティングユーザに対して支払いを行うことができるように応答ユーザに支払いを行うことに合意することができる。第三者支払人は、応答ユーザおよびリストティングユーザのうちの一方または両方の評判(たとえば、信頼スコア)に基づき支払いを行うかどうかを評価することができる。いくつかの実施形態において、応答ユーザは、次いで、支払いを行ってオンラインマーケットを通じて第三者支払人に返金する。この方式で、第三者支払人は、取引オファーリングの価格の一部または全部についてファイナンスを提供する。有益なことに、第三者支払人は、金利を徴収することによって利益を得ることができる。それに加えて、いくつかの実施形態において、複数の第三者支払人は、一緒にになって、取引オファーリングの価格の一部または全部を提供することができる。別の例として、第三者支払人は、オンラインマーケットで使用される特定の閾値を超える信頼スコアを有するすべてのユーザにクレジットラインを提供するか、またはオファーすることができる。10

【0022】

少なくともいくつかの実施形態において、1人または複数のユーザは、別のユーザに代わって特定の取引オファーリングに必要な支払いに責任をとることに合意することができる。これは、ユーザが強い評判を確立していない場合に有益であり得る。それに加えて、これは、ギフト支払いを行い、それが特定の目的のために使用されることを保証するうえで有益であり得る。20

【0023】

少なくともいくつかの実施形態において、オンラインマーケットは、ユーザの1つまたは複数の預金口座も維持するように動作する。たとえば、ユーザは、預金口座にお金を直接預金し(または振り込み)、引き換えに、オンラインマーケット上の取引を完了するために使用できる通貨を受け取ることができる。いくつかの実施形態において、口座の通貨は、オンラインマーケットによって維持される仮想通貨である。それに加えて、いくつかの実施形態において、オンラインマーケットは、オンラインマーケットを使用して取引を完了することなしでなど、いつでも、預け入れまたは引き出しを行える現実の通貨で維持される資金で口座を維持する。それに加えて、異なる国のユーザ間での取引を円滑にするために、いくつかの実施形態では、異なる為替レートで様々な現実の通貨の間の交換を可能にする。30

【0024】

図1は、オンラインマーケットを提供するためのシステム100の一例を示す概略ブロック図である。この例では、システム100は、オンラインマーケット102、ユーザコンピューティングデバイス104a、104b、104c、および104d(ユーザコンピューティングデバイス104と総称される)、ならびにネットワーク106を含む。この例では、ユーザコンピューティングデバイス104aは、買手によって使用されており、ユーザコンピューティングデバイス104bは、買手/売手によって使用されており、ユーザコンピューティングデバイス104cは、第三者支払人によって使用されており、ユーザコンピューティングデバイス104dは、売手によって使用されている。40

【0025】

オンラインマーケット102は、ユーザ間の様々な取引および支払いの完了を円滑にするように動作する。オンラインマーケット102は、サーバ108、データベース110、およびロ50

ーカルエリアネットワーク112を備える。

【0026】

サーバ108は、ユーザ間の取引および支払いの完了を円滑にすることに関係する様々なプロセスを実行するように動作する。サーバ108は、MICROSOFT(登録商標) Corporationによって販売されているSQL SERVER(登録商標)データベースソフトウェアなどの、データベースソフトウェアアプリケーションを備えるコンピューティングデバイスである。少なくともいくつかの実施形態において、サーバ108は、ウェブサーバまたはファイルサーバを含む。いくつかの実施形態において、サーバ108は、1つまたは複数の物理的ロケーションに配置されている複数のコンピューティングデバイスを含む。たとえば、サーバ108は、单一のサーバまたはサーバのバンクであってよい。

10

【0027】

この例では、サーバ108は、売手ファイナンスエンジン109を伴うマーケットを含む。売手ファイナンスエンジン109を備えるマーケットは、インターフェースを生成し、売手ファイナンスを備えるオンラインマーケットに関連付けられている他のプロセスを実行するように動作する。

【0028】

データベース110は、ユーザ、取引、および支払いに関係するデータを記憶するように構成されているデータ記憶デバイスである。データベース110の例は、ハードディスクドライブ、ハードディスクドライブの集合体、デジタルメモリ(ランダムアクセスメモリなど)、独立したディスクの冗長アレイ(RAID)、光もしくはソリッドステート記憶デバイス、または他のデータ記憶デバイスを含む。データは、複数のローカルまたはリモートデータ記憶デバイスにまたがって分散され得る。データベース110は、階層型もしくはリレーションナルデータベース構造などの組織化された方式で、または表などのリストおよび他のデータ構造で、データを記憶する。データベース110は、単一のデータ記憶デバイス上に記憶され得るか、または複数の物理的ロケーション内に配置されている2つ以上のデータ記憶デバイスにまたがって分散され得る。データベース110は、単一のデータベースまたは複数のデータベースであるものとしてよい。少なくともいくつかの実施形態では、データベース110は、サーバ108上に配置される。

20

【0029】

ネットワーク112は、サーバ108とデータベース110との間でデジタルデータをやり取りする。ネットワーク112は、ローカルエリアネットワーク、またはインターネットなどのワイドエリアネットワークとすることができます。サーバ108およびデータベース110は、同じロケーションまたはリモートロケーションにあってよい。

30

【0030】

ユーザコンピューティングデバイス104は、ユーザがオンラインマーケット102にアクセスすることを可能にするように動作する。ユーザコンピューティングデバイス104は、ネットワーク106に接続される。ユーザコンピューティングデバイス104は、有線またはワイヤレスインターフェースを使用してネットワークに接続し得る。いくつかの実施形態において、ユーザコンピューティングデバイス104は、ウェブブラウザを使用してウェブインターフェースを通じてオンラインマーケット102にアクセスする。他の実施形態では、コンピューティングデバイスは、アプリケーションを使用してオンラインマーケット102にアクセスする。他の実施形態も同様に可能である。売手は、賃貸人を含み、買手は、賃借人を含む。いくつかの実施形態において、ユーザは、投稿ユーザおよび応答ユーザを含む。投稿ユーザは、売手または買手を含むことができ(たとえば、買手が案内広告リストイングを投稿するとき)、応答ユーザは、買手または売手を含むことができる(たとえば、売手が案内広告リストイングに応答したとき)。さらに、本明細書で説明されているように、単一のユーザが、一方の取引オファリングに対する売手と他方の取引オファリングに対する買手の両方であり得る。

40

【0031】

ネットワーク106は、ユーザコンピューティングデバイス104およびサーバ108などの、1

50

つまたは複数のコンピューティングデバイスの間でデジタルデータをやり取りする。ネットワーク106は、ローカルエリアネットワーク、またはインターネットなどのワイドエリアネットワークとすることができます。少なくともいくつかの実施形態において、ネットワーク106およびネットワーク112は、インターネットまたは同じローカルエリアネットワークなどの、単一のネットワークである。

【0032】

図2は、サーバ108またはユーザコンピューティングデバイス104を含む、本開示の態様を実装するために使用できるコンピューティングデバイス114の例示的なアーキテクチャを示している。図2に例示されているタイプなどの、1つまたは複数のコンピューティングデバイスは、本明細書で説明されているオペレーティングシステム、アプリケーションプログラム、およびソフトウェアモジュール(ソフトウェアエンジンを含む)を実行するために使用される。
10

【0033】

コンピューティングデバイス114は、いくつかの実施形態において、中央演算処理装置(CPU)などの、少なくとも1つの処理デバイス120を含む。様々な処理デバイスは、様々なメーカー、たとえば、IntelまたはAdvanced Micro Devicesのものを利用できる。この例では、コンピューティングデバイス114は、また、システムメモリ122と、システムメモリ122を備える様々なシステムコンポーネントを処理デバイス120に結合するシステムバス124とを備える。システムバス124は、メモリバスまたはメモリコントローラ、周辺機器バス、および様々なバスアーキテクチャのうちのどれかを使用するローカルバスを含む任意の数の種類のバス構造のうちの1つである。
20

【0034】

コンピューティングデバイス114に適しているコンピューティングデバイスの例は、デスクトップコンピュータ、ラップトップコンピュータ、タブレットコンピュータ、スマートフォンなどの携帯電話デバイス、またはデジタル命令を処理するように構成されている他のデバイスを含む。

【0035】

システムメモリ122は、リードオンリーメモリ126およびランダムアクセスメモリ128を含む。起動時などにコンピューティングデバイス114内で情報を転送する働きをする基本ルーチンを含む基本入出力システム130は、典型的には、リードオンリーメモリ126に記憶される。
30

【0036】

コンピューティングデバイス114は、少なくともいくつかの実施形態において、デジタルデータを記憶するために、ソリッドステートメモリ技術などの二次記憶デバイス132も含む。二次記憶デバイス132は、二次記憶装置インターフェース134によってシステムバス124に接続される。二次記憶デバイスおよび関連コンピュータ可読媒体は、コンピューティングデバイス114用にコンピュータ可読命令(アプリケーションプログラムおよびプログラムモジュールを含む)、データ構造、および他のデータを記憶する不揮発性記憶装置となる。

【0037】

本明細書で説明されている例示的な環境は、ソリッドステートメモリ技術を二次記憶デバイスとして採用しているが、他のタイプのコンピュータ可読記憶媒体も他の実施形態において使用される。これらの他のタイプのコンピュータ可読記憶媒体の例は、ハードディスク、磁気力セット、フラッシュメモリもしくは他のソリッドステートメモリ技術、デジタルビデオディスク、ベルヌーイカートリッジ、コンパクトディスクドライブオンリーメモリ、デジタル多用途ディスクドライブオンリーメモリ、ランダムアクセスメモリ、またはリードオンリーメモリを含む。いくつかの実施形態は、非一時的媒体を含む。
40

【0038】

オペレーティングシステム136、1つまたは複数のアプリケーションプログラム138、他のプログラムモジュール140、およびプログラムデータ142を含む、多くのプログラムモジ
50

ユールが、二次記憶デバイス132またはメモリ122に記憶され得る。データベース110は、プログラムデータ142などの、メモリ112内の任意のロケーションに、または二次記憶デバイス132に記憶され得る。

【0039】

いくつかの実施形態において、コンピューティングデバイス114は、ユーザが入力をコンピューティングデバイス114に送ることができるようとする入力デバイス144を備える。入力デバイス144の例は、キーボード146、ポインタ入力デバイス148、マイクロフォン150、およびタッチセンサー152を含む。タッチセンサー式ディスプレイデバイスは、タッチセンサーの一例である。他の実施形態は、他の入力デバイス144を含む。入力デバイスは、システムバス124に結合されている入出力インターフェース154を通じて処理デバイス120に接続されることが多い。これらの入力デバイス144は、パラレルポート、シリアルポート、ゲームポート、またはユニバーサルシリアルバスなどの、任意の数の入出力インターフェースによって接続することができる。入力デバイス144とインターフェース154との間のワイヤレス通信も同様に可能であり、可能な少なくともいくつかの実施形態において、赤外線、BLUETOOTH(登録商標)ワイヤレス技術、802.11a/b/g/n/ac、セルラーまたは他の無線周波通信システムを含む。

【0040】

この例示的な実施形態において、タッチセンサー式ディスプレイデバイス156は、また、ビデオアダプタ158などのインターフェースを介してシステムバス124に接続される。いくつかの実施形態において、ディスプレイデバイス156は、タッチセンサー式ディスプレイデバイスである。タッチセンサー式ディスプレイデバイスは、ユーザがディスプレイをタッチしたときに、またはいくつかの実施形態において、ディスプレイに触れる寸前まで近づいただけで、ユーザから入力を受信するためのセンサーを備える。そのようなセンサーは、容量センサー、圧力センサー、光センサー、または他のタッチセンサーとすることができます。センサーは、ディスプレイとの接触を検出するだけでなく、接触の位置および時間の経過とともに移動する接触も検出する。たとえば、ユーザは、画面上で、または画面の近くで指またはスタイルスを移動して書かれた入力を与えることができる。書かれた入力は評価され、いくつかの実施形態において、テキスト入力に変換される。

【0041】

ディスプレイデバイス156に加えて、コンピューティングデバイス114は、スピーカまたはプリンタなど、様々な他の周辺デバイス(図示せず)を備えることができる。

【0042】

ローカルエリアネットワーキング環境またはワイドエリアネットワーキング環境(インターネットなど)で使用されるときに、コンピューティングデバイス114は、典型的には、ワイヤレスネットワークインターフェース160などの、ネットワークインターフェースを通じてネットワークに接続される。他の可能な実施形態では、他の通信デバイスを使用する。たとえば、コンピューティングデバイス114のいくつかの実施形態は、イーサネット(登録商標)ネットワークインターフェース、またはネットワーク上で通信するためのモジュームを備える。

【0043】

コンピューティングデバイス114は、典型的には、少なくともいくつかの形態のコンピュータ可読媒体を備える。コンピュータ可読媒体は、コンピューティングデバイス114によってアクセスできる利用可能な媒体を含む。たとえば、コンピュータ可読媒体は、コンピュータ可読記憶媒体およびコンピュータ可読通信媒体を含む。

【0044】

コンピュータ可読記憶媒体は、コンピュータ可読命令、データ構造、プログラムモジュール、または他のデータなどの情報を記憶するように構成されている任意のデバイスにおいて実装される揮発性および不揮発性の、取り外し可能および取り外し不可能な媒体を含む。コンピュータ可読記憶媒体は、限定はしないが、ランダムアクセスメモリ、リードオンリーメモリ、電気的消去可能プログラマブルリードオンリーメモリ、フラッシュメモリ

もしくは他のメモリ技術、コンパクトディスクリードオンリーメモリ、デジタル多用途ディスクもしくは他の光学式記憶装置、磁気力セット、磁気テープ、磁気ディスク記憶装置もしくは他の磁気記憶デバイス、または、所望の情報を記憶するために使用することができ、しかもコンピューティングデバイス114によってアクセスできる任意の他の媒体を含む。

【0045】

コンピュータ可読通信媒体は、典型的には、コンピュータ可読命令、データ構造、プログラムモジュール、または搬送波もしくは他のトランスポートメカニズムなどの変調データ信号による他のデータを具現化するものであり、任意の情報配信媒体を含む。「変調データ信号」という用語は、信号内に情報を符号化するような方法で特性のうちの1つまたは複数が設定または変更された信号を指す。たとえば、コンピュータ可読通信媒体は、有線ネットワークまたは直接配線接続などの有線媒体、ならびに音響、無線周波、赤外線、および他のワイヤレス媒体などのワイヤレス媒体を含む。上記のいずれの組合せもコンピュータ可読媒体の範囲に含まれる。10

【0046】

図3は、第1のユーザと第2のユーザとの間でシステム100を使用して取引を完了する例示的な方法220を示すフローチャートである。いくつかの実施形態において、方法220は、1つまたは複数の処理デバイス(図2に示されている、処理デバイス120など)を使用してオンラインマーケット102によって実行される。この例では、方法220は、オペレーション222、224、226、228、230、232、および234を含む。20

【0047】

オペレーション222において、オンラインマーケット102は、第1のユーザから、売手ファイナンス条件を含む、リストティングを受信する。リストティングは、第1のユーザが別のユーザに販売またはリースしたい取引オファリングを記述している。代替的に、リストティングは、第1のユーザが別のユーザから購入またはリースしたい取引オファリングを記述している。リストティングは、取引オファリングの説明を含む。説明は、取引オファリングに関係するテキスト、グラフィック、ビデオ、およびオーディオデータのうちの1つまたは複数を含み得る。それに加えて、説明は、構造化データ(たとえば、取引オファリングの経過日数)および非構造化データ(たとえば、取引オファリングの叙述的説明)を含むことができる。取引オファリングを説明することに加えて、リストティングは、取引オファリングに対する、売手ファイナンス条件を含む、支払い条件も記述する。それに加えて、リストティングは、支払い条件のうちの1つもしくは複数が交渉可能であること、または支払い条件のうちの1つもしくは複数が交渉可能でないことを指定し得る。リストティングは、第1のユーザがオンラインマーケット102によって生成されるウェブサイト上のフォームを完成させることによって生成される。代替的に、リストティングは、取引オファリングの1つまたは複数の写真をオンラインマーケット102に送信することなどによって他の方法を使用して生成される。少なくともいくつかの他の実施形態において、リストティングは、他の方法を使用して生成される。30

【0048】

オペレーション224において、オンラインマーケット102は、リストティングおよび第1のユーザのプロファイルを第2のユーザに送信する。少なくともいくつかの実施形態において、オンラインマーケット102は、第2のユーザによってなされた検索要求に応答してリストティングを第2のユーザに送信する。たとえば、第2のユーザは、オンラインマーケットによって生成されたウェブサイト上のフォームに取引オファリングの状況を記述する検索語を入力し得る。代替的に、リストティングは、第2のユーザによってなされる閲覧要求に応答して第2のユーザに送信される。たとえば、第2のユーザは、オンラインマーケット102によって生成されたウェブサイト上のリストから取引オファリングのタイプのカテゴリ(またはサブカテゴリ)を選択してよい。別の代替的実施形態では、リストティングは、ワシントン州レドモンド所在のMICROSOFT(登録商標) CorporationのBING検索エンジンまたはカリフォルニア州マウンテンビュー所在のGOOGLE(登録商標) Inc.のGOOGLE検索エンジン4050

などの検索エンジンを使用して行われる検索に応答して送信される。それに加えて、リストティングは、第1のユーザ、第2のユーザ、または別のユーザからの要求に応答して電子メールまたはソーシャルメディアを介して送信され得る。少なくとも他の実施形態において、リストティングは、他の方法を使用して送信される。

【0049】

いくつかの実施形態において、オンラインマーケット102は、リストティングとともに第1のユーザのプロファイルを送信する。プロファイルは、第1のユーザとの取引を行うかどうかを決定するために第2のユーザがレビューすることができるプロファイル情報を含む。たとえば、プロファイルは、少なくともいくつかの実施形態において、第1のユーザが当事者であった過去の取引に関する情報を含む。代替的に、オンラインマーケット102は、リストティングとともに第1のユーザのサマリープロファイルを送信してよい。サマリープロファイルは、第1のユーザに関して利用可能なプロファイル情報のサマリーを含み得る。たとえば、サマリープロファイルは、信頼スコア(以下でさらに詳しく説明されている)などの、単一のスコアを含み得る。それに加えて、いくつかの実施形態において、第1のユーザのプロファイルは、リストティングとともに送信されない。その代わりに、第1のユーザのプロファイルは、第2のユーザが、オンラインマーケットによって生成されたウェブページ上のリンクを辿ることなどによってプロファイルに対する希望を指示した後に第2のユーザに送信される。それに加えて、オンラインマーケット102は、第2のユーザがリストティングに応答したいことを示す指示を受信した後に第1のユーザのプロファイルを第2のユーザに送信し得る。他の実施形態も同様に可能である。

10

20

【0050】

オペレーション226において、オンラインマーケット102は、第1のユーザから取引オファリングに対するオファーを受信する。それに加えて、いくつかの実施形態において、オンラインマーケット102は、複数のユーザから取引オファリングに対する複数のオファーを受信する。オンラインマーケット102は、様々な方法を使用してオファーを受信するためのインターフェースを備え得る。たとえば、オンラインマーケット102は、第2のユーザがフォームをサブミットするか、またはオンラインマーケット102によって生成されたウェブページ上のボタンをクリックするとオファーを受信することができる。それに加えて、オンラインマーケット102は、電子メール、ソーシャルメディア、またはテキストメッセージを介して第2のユーザからオファーを受信することができる。ときには、オファーは、リストティングにおいて説明されている条件を反映する条件を含む。代替的に、オファーは、リストティングにおいて説明されている条件のうちの少なくとも1つを変える条件を含み得る。いくつかの実施形態において、オンラインマーケット102は、リストティングにおいて条件が交渉可能であることを第1のユーザが指定していたときのみ第2のユーザがオファーの中の条件を修正することを許す。

30

【0051】

オペレーション228において、オンラインマーケット102は、オファーおよび第2のユーザのプロファイルを第1のユーザに送信する。オファーは、電子メール、ソーシャルメディア、テキストメッセージ、または他のメッセージを介して第1のユーザに送信され得る。いくつかの実施形態において、オファーは、ユーザがオンラインマーケット102によって生成されたウェブページにアクセスするときに第1のユーザに送信される。第2のユーザのプロファイルは、第1のユーザのプロファイルに類似しており、第2のユーザと取引を行うかどうかを決定するために第1のユーザがレビューすることができる情報を含む。少なくともいくつかの実施形態において、第2のユーザのプロファイルは、オファーとともに第1のユーザに送信される。代替的に、第2のユーザのプロファイルは、第1のユーザが電子メール、ソーシャルメディアメッセージ、またはウェブページ内のリンクを辿ることに応答するなどして、オファーとは別に第1のユーザに送信される。他の実施形態も同様に可能である。

40

【0052】

オペレーション230において、オンラインマーケット102は、第1のユーザからオファー

50

の受諾を受信する。オンラインマーケット102は、異なる実施形態において多くの異なる方法で受諾を受信することができる。たとえば、いくつかの実施形態において、第1のユーザがリンクを辿るか、フォームをサブミットするか、またはオンラインマーケット102によって生成されたウェブページ上のボタンをクリックするときに受諾が受信される。代替的に、受諾は、電子メール、テキストメッセージ、またはソーシャルメディアを介してオンラインマーケット102によって受信される。他の実施形態も同様に可能である。

【0053】

それに加えて、受諾を受信する代わりに、オンラインマーケット102は、カウンターオファーを受信することもできる。カウンターオファーは、オファーに提示されている条件のうちの1つまたは複数を変えるものである。

10

【0054】

オペレーション232において、オンラインマーケット102は、第1のユーザと第2のユーザとの間の支払いを管理する。取引が、第1のユーザが取引オファリングを第2のユーザに販売することを伴うときに、第2のユーザは、一般的に、取引の合意した支払い条件に従って第1のユーザに対して1つまたは複数の支払いを行う。少なくともいくつかの実施形態において、オンラインマーケット102は、第2のユーザから支払いを受信し、支払いを第1のユーザに送信するように動作する。この方式で、オンラインマーケット102は、取引の合意した条件に従って支払いが行われていることを検証し、記録することができる。代替的に、オンラインマーケット102は、支払いが行われ、受け取られたことを示す指示を受信することができる。たとえば、いくつかの実施形態において、第2のユーザは、カリфорニア州サンノゼ所在のeBay(登録商標)からPayPal(登録商標)ペイメントサービスを使用して第1のユーザに支払いを行う。それに加えて、様々な実施形態は、カリifornニア州メンロパーク所在のFacebook, Inc.のFacebook Messenger、カリifornニア州マウンテンビュー所在のWhatsApp Inc.のWhatsApp、カリifornニア州サンフランシスコ所在のTwitter, Inc.のTwitter、SMS、電子メール、ならびに他のペイメントサービスまたは技術などの仲介ペイメントサービスまたは技術を通じて支払いを受信するか、または送信するよう に動作する。いくつかの実施形態において、ユーザは、1つまたは複数のペイメントサービスまたは技術を使用して、オンラインマーケット102を介して(たとえば、支払いは、最初に、オンラインマーケット102によって受信され、次いで、オンラインマーケット102は、他のユーザに支払いを行う)、または直接的に、別のユーザに支払いを行う。

20

【0055】

オペレーション234において、オンラインマーケット102は、第1のユーザと第2のユーザのプロファイルを更新する。プロファイルは、第1のユーザおよび第2のユーザが、合意した取引の条件に従って履行するかどうかに基づき更新される。プロファイルは、取引において他のユーザのレビューに基づき更新されてもよい。たとえば、第1のユーザは、第2のユーザのレビューを提供することができ、第2のユーザは、第1のユーザのレビューを提供することができる。レビューは、テキスト、数値評価(たとえば、0~100のスコア)、または両方であってよい。少なくともいくつかの実施形態において、オンラインマーケット102は、取引がアクティブ状態である間に第1のユーザおよび第2のユーザがレビューを入力するか、または更新することを可能にするように動作する。プロファイルは、また、支払いがオペレーション232において適切に行われたかどうかに基づき更新される。少なくともいくつかの実施形態において、オンラインマーケット102は、取引が成功裏に完了したことを指示するために取引コインで第1のユーザおよび第2のユーザの両方のプロファイルを更新する。取引が成功裏に完了しなかった場合、オンラインマーケット102は、変色した取引コインで第1のユーザおよび第2のユーザのうちの少なくとも一方のプロファイルを更新する。

40

【0056】

図4は、サーバ108の売手ファイナンスエンジン109を備えるマーケットの例示的なアーキテクチャを示している。売手ファイナンスエンジン109を備えるマーケットは、処理デバイス120(図2に示されている)によって実行されたときに、サーバ108の1つまたは複数の

50

オペレーションを実行する1つまたは複数のモジュールを備える。エンジンは、アカウント管理エンジン290、リスティングエンジン292、閲覧/検索エンジン294、ホールド(hold)エンジン296、取引エンジン298、支払いエンジン300、再交渉エンジン302、評判エンジン304、保険エンジン306、近傍エンジン308、通信エンジン310、およびユーザインターフェースエンジン312を含む。少なくともいくつかの実施形態は、図4に示されているものよりも多い、少ない、または異なるエンジンを含む。

【0057】

アカウント管理エンジン290は、オンラインマーケット102のユーザのアカウントを管理するように動作する。少なくともいくつかの実施形態において、アカウント管理エンジン290は、個人または事業体がオンラインマーケット102のユーザとして登録し、オンラインマーケット102にログインおよびログアウトすることを可能にする。少なくともいくつかの実施形態において、アカウント管理エンジン290は、オンラインマーケット102がソーシャルメディアアカウントを使用してログインすることを可能にするステップおよびユーザの代わりにソーシャルメディアアカウントに投稿するステップのうちの1つまたは複数を実行することができるようアカウントを1つまたは複数のソーシャルメディアアカウントに関連付けるように動作する。いくつかの実施形態において、本明細書でさらに詳しく説明されているように、アカウント管理エンジンは、ユーザ検証を実行し、複数の検証プロセスのうちの1つの完了に応じて複数のユーザ検証レベルのうちの1つをユーザに授与するように動作する。

【0058】

リスティングエンジン292は、取引オファリングに対するリスティングを受信し、記憶し、更新するように動作する。閲覧/検索エンジン294は、オンラインマーケット102におけるリスティングを閲覧し、検索するように動作する。ホールドエンジン296は、リスティングで指定されているホールド条件に基づきオンラインマーケット102において利用可能な取引オファリングをホールドするように動作する。

【0059】

取引エンジン298は、オファーおよびカウンターオファーと取引の条件への合意とを含む、オンラインマーケット102における取引の交渉を管理するように動作する。取引は支払いを伴うことが多いが、少なくともいくつかの実施形態において、ユーザは、オンラインマーケット102または別のユーザに取引オファリングを供与することを選択してよい。これらの実施形態では、受け取り側ユーザは、取引を完了するために取引オファリングを受諾する必要があるものとしてよい。

【0060】

支払いエンジン300は、合意した取引に従ってユーザ間の支払いを管理するように動作する。いくつかの実施形態において、支払いエンジン300は、買手からある時間にわたり支払いを受け取ることを含む売手ファイナンスされた取引の条件の順守を監視するように動作する。それに加えて、いくつかの実施形態において、支払いエンジン300は、支払いを管理するように動作し、これは定期的請求書またはリマインダーを買手に送信するステップと、支払いの期日が迫っている場合に買手および売手に通知するステップと、支払いの期日が過ぎた場合に買手および売手に通知するステップと、同様のステップとを含み得る。いくつかの実施形態において、支払いエンジン300は、定義済み支払い方法を利用して、支払いをするためにまたは支払いの期日が過ぎたときに、買手の支払い口座から支払いを自動的に差し引く。いくつかの実施形態において、支払いエンジンは、支払いが間に合わない場合に、延滞料を請求すること、取引に対する金利を上げること、オンラインマーケットでのさらなる取引を防ぐために買手口座をロックすること、および同様のことなどによって、買手にペナルティを与える。いくつかの実施形態において、支払いエンジン300は、取引の条件への順守(不順守を含む)を評判エンジン304に通知し、評判エンジンは、本明細書でさらに詳しく説明されているように、しかるべきユーザの評判データ(信頼スコアを含む)を更新する。したがって、いくつかの実施形態において、支払いエンジン300は、買手と売手の両方に対して取引を自動的に管理する。たとえば、いくつかの実施形

10

20

30

40

50

態において、売手は、リマインダーまたは遅延通知を送信しなくてよく、合意の条件への順守を得るために買手に対して連絡する、懇願する、脅す、または他の強制的措置を講じる必要がない。それに加えて、いくつかの実施形態において、買手は、請求書もしくはリマインダーを受け取ることによって、または買手に代わって自動的に支払いが行われることによって合意の条件に従うのを補助される。

【0061】

さらに、いくつかの実施形態において、支払いエンジン300は、取引に関する様々な順守通知を送信するように動作する。順守通知は、買手もしくは売手に適用可能な法律もしくは規制によって、またはオンラインマーケット102のポリシーによって必要になることがある。順守通知の例は、徴収通知、支払い遅延通知、明け渡し通知、詐欺通知、非合法活動通知などを含む。これらの順守通知は、それらの状況において適切なように買手または売手のいずれかに送信され得る。さらに、これらの順守通知は、適用すべき法律、規制、またはポリシーによって要求される情報を事前に部分的にまたは完全に書き込まれ得る。

10

【0062】

再交渉エンジン302は、ユーザが取引の条件への調整を提案し、受諾することを可能にするように動作する。

【0063】

評判エンジン304は、オンラインマーケットシステムにおけるユーザの評判および過去の取引におけるそのユーザの実績に関する情報を含む、ユーザに対する評判データを管理するように動作する。いくつかの実施形態において、評判エンジン304は、ユーザ信頼プロファイルを生成する。信頼プロファイルは、評判データを含み、買手と売手の両方が売手ファイナンスされた取引を行う前に互いの信頼性を評価することを可能にするように構成されている。評判データは、本明細書においてさらに詳しく説明されている、たとえば評判要因データを含む。いくつかの実施形態において、信頼プロファイルは、信頼スコアを含む。信頼スコアは、また、他の当事者の信頼性を評価するために当事者らによって使用される。評判エンジン304のいくつかの実施形態は、様々な目的のために追加のスコアを生成する。たとえば、いくつかの実施形態は、ユーザが会合をスケジュールすることを可能にし(たとえば、面と向かって、電話またはビデオ会議で、など)、評判エンジン304は、特定のユーザが時間を守ってスケジュールされた会合に出席したかどうかに関するユーザからのフィードバックに基づき会合責務スコアを生成し得る。いくつかの実施形態において、ユーザは、特定のユーザに対する会合出席に関するフィードバックを、実際にそのユーザと取引を行うかどうかに関係なく残すことができる。

20

【0064】

保険エンジン306は、ユーザがオンラインマーケット102を使用してユーザが行う取引を補償する保険を得ることを可能にするように動作する。保険は、支払いが行われるという保証をユーザに提供し得る。保険を得ることは、支払い保証を行う単なる一例である。いくつかの実施形態は、支払い保証をユーザに提供するための他の技術も同様に含む。いくつかの実施形態において、買手または売手のいずれか(または両方)は、取引に対する支払い保証を購入する(または他の何らかの形で担保する)ことができるものとしてよい。

30

【0065】

近傍エンジン308は、ユーザを互いの近傍に追加するステップ、近傍内のユーザを勧誘するステップ、および近傍内の人々に対してリストティングをフィルタリングするステップを含めて、オンラインマーケットのユーザの近傍を管理するように動作する。それに加えて、近傍エンジン308のいくつかの実施形態は、ユーザが様々なソーシャルメディアツールを通じて近傍招待を他のユーザまたは潜在的ユーザに送信することを可能にする。

40

【0066】

通信エンジン310は、オンラインマーケットのユーザと通信し、ユーザ同士が通信することを可能にするように動作する。ユーザインターフェースエンジン312は、オンラインマーケットにアクセスするためのユーザインターフェースを生成するように動作する。少

50

なくともいくつかの実施形態において、ユーザインターフェースは、複数の相互接続されたウェブページまたはアプリケーション内のグラフィカルユーザインターフェースを含む。他の実施形態も同様に可能である。

【 0 0 6 7 】

図5は、データベース110の例示的なアーキテクチャを示している。少なくともいくつかの実施形態において、データベース110は、ユーザプロファイルデータ360、リストイングおよびカテゴリデータ362、取引および支払いデータ364、評判データ366、ならびに取引レビューデータ368を記憶する。

【 0 0 6 8 】

ユーザプロファイルデータ360は、オンラインマーケット102のユーザに関するデータを収めた1つまたは複数のテーブルを含む。たとえば、ユーザプロファイルデータ360は、ユーザに対する連絡先情報および銀行口座または支払いオプション情報を含むことができる。

10

【 0 0 6 9 】

リストイングおよびカテゴリデータ362は、オンラインマーケット102上の取引オファリングのカテゴリおよびリストイングに関するデータを収めた1つまたは複数のテーブルを含む。少なくともいくつかの実施形態において、カテゴリは、階層構造にされ、リストイングは、少なくとも1つのカテゴリに関連付けられている。

【 0 0 7 0 】

取引および支払いデータ364は、オンラインマーケット102を使用することに合意した取引に関するデータを含む。取引および支払いデータ364は、すでに行われている支払いおよび取引に対して期日が迫っている支払いに関する履歴情報を含み得る。

20

【 0 0 7 1 】

評判データ366は、ユーザの評判およびユーザによる取引の実績に関する情報を含む。いくつかの実施形態において、評判データ366は、評判要因データおよび信頼スコアデータを含む。たとえば、評判要因データは、取引の他方の当事者によって入力されるユーザに対する取引の評価を含むことができる。それに加えて、評判要因データは、ユーザが支払いを行った、または合意した取引の条件と一致する取引オファリングを配信したかどうかに基づきオンラインマーケット102によって自動的に生成される情報を含むことができる。それに加えて、評判要因データは、ユーザの検証レベルに関する情報を含むことができる。少なくともいくつかの実施形態において、信頼スコアデータは、ユーザに対する総信頼スコアを表す単一のスコアを含み、これはそのユーザに対する評判要因データの一部または全部に基づく。

30

【 0 0 7 2 】

取引レビューデータ368は、別のユーザの実績をレビューする一方のユーザによって提供される情報を含む。取引レビューデータ368は、取引のテキストによる説明および取引のユーザ実績を含み得る。いくつかの実施形態において、取引レビューデータ368は、「サービスは説明されているとおりに提供された」、「製品破損」、「支払いはすべて遅れずになされた」、または「1つまたは複数の支払い遅延」などの取引の様々な標準的な説明を含む。

40

【 0 0 7 3 】

図6は、システム100を使用してオンラインマーケット102のためのユーザインターフェースを生成する例示的な方法490を示すフローチャートである。いくつかの実施形態において、方法490の少なくともいくつかのオペレーションは、プロセッサ(図2に示されている、処理デバイス120など)を使用してユーザインターフェースエンジン312によって実行される。この例では、方法490は、オペレーション492、494、496、498、502、504、506、508、510、512、514、516、518、520、および522を含む。

【 0 0 7 4 】

オペレーション492において、ユーザインターフェースエンジン312は、ホームページを生成してユーザに送信する。ホームページは、ネットワーク106上でユーザコンピューテ

50

イングデバイス104に送信され得る。いくつかの実施形態において、ホームページは、オンラインマーケット102を使用して利用可能である取引オファリングのうちの少なくともいくつかの画像とテキストによる説明とを含む。他の実施形態は、ホームページ上の追加の情報を含む。

【0075】

オペレーション494において、ユーザがログインを望んでいるかどうかが決定される。少なくともいくつかの実施形態において、インターフェースエンジン312は、ユーザがホームページ上のリンクを辿ることに基づきユーザがログインすることを望んでいると決定する。代替的に、ユーザインターフェースエンジン312は、ユーザがログインを望んでいるかどうかを尋ねるプロンプトをユーザに出す。ユーザがログインを望んでいる場合に、方法はオペレーション496に進む。ユーザがログインを望んでいない場合、方法はオペレーション522に進む。

【0076】

オペレーション496において、ユーザが既存のアカウントを有しているかどうかが決定される。ユーザが、既存のアカウントを有していない場合、方法はオペレーション498に進む。オペレーション498において、ユーザは、新しいアカウントを作成し、プロファイル情報を検証するよう求められる。ユーザアカウントを作成する例示的な方法は、以下でより詳しく説明される。しかしながら、ユーザが、既存のアカウントを有している場合、方法はオペレーション502に進む。

【0077】

オペレーション502において、ユーザは、ログイン情報(たとえば、ユーザ名、電子メールアドレス、およびパスワード)を入力することができる。少なくともいくつかの実施形態において、ユーザは、ホームページまたは任意の他のページ上で直接ログイン情報を入力する。それに加えて、ユーザは、ホームページまたは任意の他のページ上のリンクを辿ることによってアクセスされ得る別のログインページ上でログイン情報を入力することができる。少なくともいくつかの実施形態において、ユーザは、ユーザのオンラインマーケット102とのインターラクションに関するコンテキスト情報を維持するポップアップウィンドウ内でログイン情報(たとえば、ユーザがどの取引オファリングを閲覧しているかなど)を入力する。それに加えて、いくつかの実施形態において、ユーザは、取引オファリングについてオファーを行うプロセスの一部としてログイン情報を入力する。いくつかの実施形態において、オンラインマーケット102は、ユーザのコンピューティングデバイスによって記憶され得、かつユーザを識別するためにオンラインマーケット102との将来の通信で使用される、クッキーをユーザに送信する。クッキーは、ユーザがログイン情報を入力することなく特定の期間にログイン状態のままであることを可能にするために使用され得る。それに加えて、いくつかの実施形態において、ユーザは、ユーザのアカウントに関連付けられているソーシャルメディアアカウントにユーザがログインしている場合に自動的にログインベースとなる。他の実施形態も同様に可能である。少なくともいくつかの実施形態において、ユーザがオンラインマーケット102にログインした後、ユーザの信頼スコア、獲得した取引コインの個数、プロファイル検証ステータス、評価、およびオンラインマーケット102にユーザがアカウントを有している時間の長さなどの、ユーザ名およびユーザに関する何らかの情報が示される。

【0078】

オペレーション504において、ユーザはログインに成功した後に様々なオプションを提示される。いくつかの実施形態において、オプションは、取引オファリングを通じた購入、販売、または閲覧を行うステップと、既存の負債に対する売掛金支払い計画を立てるステップと、ユーザの近傍内の他のユーザを見て通信するステップと、アカウント設定を修正するステップとを含む。

【0079】

オペレーション506において、ユーザが販売に出す取引オファリングをリストにしたいかどうかが決定される。もしそうであれば、方法はオペレーション508に進み、そこでリ

10

20

30

40

50

スティングが投稿される。リストイングを投稿するための方法は、以下でより詳しく説明される。そうでない場合、方法はオペレーション510に進む。

【0080】

オペレーション510において、ユーザが売掛金勘定を設定したいかどうかが決定される。ユーザが、売掛金勘定を設定したい場合、方法はオペレーション512に進み、そこで、売掛金勘定が設定される。少なくともいくつかの実施形態において、売掛金勘定は、既存の負債に基づく。たとえば、売掛金勘定は、専門的サービスについて被る手数料(たとえば、法律または会計処理手数料)に基づくことができる。少なくともいくつかの実施形態において、第1の当事者は、売掛金勘定に対する支払い条件を入力し、それらの条件を第2の当事者に送信する。条件は、第2の当事者に関するオーラインマーケット102によって維持されているインボックスに送信され得る。それに加えて、条件は、電子メール、テキストメッセージング、ソーシャルメディア、音声通信、郵便、または他の外部的方法を介しても送信され得る。次いで、第2の当事者は、支払いエンジン300など、システム100のツールのうちの少なくともいくつかを使用して、提案を受諾し、第1の当事者への支払いを完了することができる。代替的に、第2の当事者は、第1の当事者が信頼できる場合に第1の当事者から提案の事前承認を得ることができる(たとえば、専門的サービスプロバイダ)。有益なことであるが、システム100は、貸付金を回収することに関連する緊張および経営上の間接費を軽減することができる。

【0081】

それに加えて、いくつかの実施形態において、売掛金勘定は、取引が別のサイト(たとえば、電子商取引ウェブサイト)または実店舗などの外部ロケーション(すなわち、マーケットの外部)において完了することに基づき自動的に作成される。たとえば、電子商取引ウェブサイト(または他の外部ロケーション)は、システム100を使用して売手ファイナンスされた支払いオプションをオファーすることが可能である。支払いオプションは、購入価格の50パーセントが購入時点に支払われること、および残金は、5パーセントの金利で6回の分割で毎月支払われることを義務付けることができる。次いで、電子商取引ウェブサイトへの訪問者が、売手ファイナンスされた支払いオプションを選択したときには必ず、売掛金勘定は、電子商取引ウェブサイトの運営者と購入者との間でシステム100に自動的に設定される。少なくともいくつかの実施形態において、電子商取引ウェブサイトの運営者は、取引を行う前に売手ファイナンスを使用してなされたすべての潜在的購入をレビューする(たとえば、潜在的購入者の信頼スコアを見る)ことを選択し得る。代替的に、電子商取引サイトの運営者は、最小信頼スコアおよび完了した取引の件数などの潜在的購入者を自動的に承認するための基準を定義することができる。代替的に、またはそれに加えて、訪問者は、システム100を使用して、オファーを行い、外部ロケーションの事業者と交渉することができる。それに加えて、いくつかの実施形態において、システム100を使用して取引が処理された後、これは、さらに完了する(たとえば、製品/サービス配布、注文履歴などの)ために外部ロケーションに転送されて送り返されるものとしてよい。少なくともいくつかの実施形態において、取引が完了している、または拘束力のある契約が交渉された、という確認が外部ロケーションに送信される。同様に、他の外部ロケーションは、システム100を使用して売手ファイナンス支払いオプションをオファーすることもできる。たとえば、売手ファイナンスされた取引をオファーする実店舗における店舗販売時点情報管理(POS)システムは、POSにおける取引の完了後にシステム100に売掛金勘定を作成することができる。

【0082】

ユーザが、売掛金勘定を設定したくない場合、方法は、オペレーション514に続く。オペレーション514において、ユーザがアカウント情報を見るか、または編集したいかどうかが決定される。ユーザが、アカウント情報を編集するか、または見たい場合、方法は、オペレーション516に続く。オペレーション516において、ユーザは、アカウント管理エンジン290を使用して様々なアカウント情報を更新することができる。ユーザアカウントに記憶されている様々な情報は、以下でより詳しく説明されている。いくつかの実施形態に

10

20

30

40

50

おいて、ユーザは、アカウント情報を見ながら他のユーザからのメッセージが収められているインボックスにアクセスすることができる。

【0083】

ユーザが、アカウント情報を見るかまたは編集することをしたくない場合、方法は、オペレーション518に続く。オペレーション518において、ユーザが近傍にアクセスしたいかどうかが決定される。ユーザが、近傍にアクセスしたい場合、方法はオペレーション520に進み、そこで、ユーザが近傍にアクセスする。近傍内では、ユーザは、ネイバーに、取引を行うか、支払いを行うか、または他の何らかの形でシステム100を使用するよう求めることができる。ユーザは、同様に、ユーザおよび非ユーザをこのユーザの近傍に参加するように招待することもできる。いくつかの実施形態において、非ユーザが、ユーザの近傍に参加し、オンラインマーケット102に登録することを求める招待を受諾した場合、オンラインマーケット102は、インセンティブ(たとえば、手数料を支払うまたは購入を行うためのパウチャー)をユーザに授与する。近傍について、以下でさらに詳しく説明される。ユーザが近傍にアクセスしたくない場合、方法はオペレーション522に進む。

10

【0084】

オペレーション522において、ユーザインターフェースエンジン312は、取引オファリングを閲覧または検索するためのユーザインターフェースを生成する。少なくともいくつかの実施形態において、ユーザインターフェースは、最上位カテゴリのリストを含む。それに加えて、リストは、最上位カテゴリの各々において利用可能な取引オファリングの件数を含み得る。ユーザインターフェースは、より詳細なカテゴリならびに様々な検索およびフィルタリング機能も備え得る。検索および閲覧機能は、以下でより詳しく説明される。少なくともいくつかの実施形態において、検索および閲覧機能は、ログインしているユーザおよびログインしていないユーザによってアクセスされ得る。

20

【0085】

図7は、システム100を使用してリストティングを閲覧し、検索する例示的な方法570を示すフローチャートである。いくつかの実施形態において、方法570の少なくともいくつかのオペレーションは、プロセッサ(図2に示されている、処理デバイス120など)を使用して閲覧/検索エンジン294によって実行される。この例では、方法570は、オペレーション572、574、576、578、580、582、584、586、588、および590を含む。

30

【0086】

方法570は、ユーザが関心を持つ取引オファリングを特定するためにユーザに対してユーザインターフェースを提示するように動作する。取引オファリングは、検索または閲覧によって特定され得る。少なくともいくつかの実施形態において、オンラインマーケット102にアクセスするものは誰でも、リストティングを閲覧するか、または検索することができる。しかしながら、典型的には、ユーザは取引オファリングに対するオファーを行うためにシステム100にログインする必要がある。

【0087】

取引オファリングに対するリストティングは、カテゴリに分類され得る。カテゴリは階層構造を有し、サブカテゴリに細分される最上位カテゴリを有するものとしてよい。サブカテゴリは、ユーザが取引オファリングを特定するのを助けるように必要に応じてかつ役立つように一段一段具体的になってゆくサブカテゴリにさらに細分され得る。一例として、少なくともいくつかの実施形態において、最上位カテゴリは、「Real Estate」、「Businesses」、「Jewelry」、「Tickets」、「Electronics」、「Designer Clothes」、「Vehicles」、「Services」、「Vacations」、「Animals/Pets」、「Hardware Store」、「Grocery Store」、「Wanted」を含む。最上位カテゴリ「Real Estate」は、サブカテゴリ「Single Family Home」、「Parking Stalls」、および「Rentals」に細分される。サブカテゴリ「Rentals」は、サブカテゴリ「Residential」および「Commercial」にさらに細分され得る。いくつかの実施形態ではさらなる細分が可能である。

40

【0088】

オペレーション572において、ユーザは、カテゴリを選択するか、または条件を検索フ

50

イールドに入力する。オペレーション574において、ユーザが条件を検索フィールドに入力したかどうかが決定される。もしそうであれば、方法570は、オペレーション576に進む。もしそうでなければ、方法570は、オペレーション586に進む。

【0089】

オペレーション576において、検索語にマッチする取引オファリングのリストイングのリストが表示される。リストは、様々な方法で提示され得る。少なくともいくつかの実施形態では、リストは、リストイングが投稿された時間に基づきソートされる。それに加えて、ユーザインターフェースは、価格、取引オファリングをリストしたユーザの信頼スコア、および様々な支払い条件などの様々な基準に従ってリストをソートするコントロールを備える。他の実施形態も、リストが追加の基準でソートされることを可能にする。ユーザインターフェースは、リストを複数のページに分割してもよく、各ページ上のマッチするリストイングの一部のみを示している。さらに、ユーザインターフェースは、各マッチするリストイングのサマリーまたはプレビューのみを示してもよい。

10

【0090】

オペレーション578において、ユーザが関心を持っている1つまたは複数の取引オファリングをリストが含むかどうかが決定される。もしそうであれば、方法は、オペレーション580に進む。もしそうでなければ、方法は、オペレーション572に戻り、そこで、ユーザはカテゴリを閲覧するか、または検索語を入力することを再開するものとしてよい。

【0091】

オペレーション580において、ユーザが関心を持っている1つまたは複数の取引オファリングに対する追加の情報が表示される。追加の情報の例は、詳細な説明、売手ファイナンス条件を含む支払い条件、写真などを含む。少なくともいくつかの実施形態において、追加の情報は、リストイングを表示したことのあるユーザの数およびリストイング内の取引オファリングについてなされるオファーの件数も含む。他の実施形態は、ユーザがリスト内の項目が興味のあるものであり得ることを指示するときに表示される異なる追加の情報を含み得る。

20

【0092】

オペレーション582において、ユーザが取引オファリングを購入したいか、取引オファリングをホールドしたいかが決定される。もしそうならば、方法は、オペレーション584に進み、そこで、ユーザは、取引オファリングに対するオファーを行ってよい。オファーを行うことは、以下により詳しく説明される。

30

【0093】

オペレーション586において、ユーザは、関心のあるカテゴリを選択する。オペレーション588において、ユーザがサブカテゴリを選択したいかどうかが決定される。ユーザが、サブカテゴリを選択したい場合、方法は、オペレーション590に進み、そこで、ユーザは、サブカテゴリを選択し得る。次いで、方法は、オペレーション588に戻り、そこで、再びユーザがサブカテゴリを選択したいかどうかが決定される。これは、ユーザが、十分に詳細なレベルまでサブカテゴリを選択してしまって続く。ユーザが別のサブカテゴリを選択することを望んでいないと決定されるときに、方法はオペレーション576に進む。少なくともいくつかの実施形態において、カテゴリおよびサブカテゴリは、標準産業分類(SIC)または北米産業分類システム(NAICS)に基づく。たとえば、カテゴリは、複数の中分類(division)または主要小分類(major group)を含む広範なSICまたはNAICS分類にまたがり得る。いくつかの実施形態において、取引オファリングのリストイングは、複数の異なる製品カテゴリにまたがる取引オファリングを含み、製品カテゴリは、SICマニュアルの1987年版で定義されているような複数の中分類もしくは主要小分類から、または公式2012 NAICSマニュアルで定義されているような複数の大分類から選択される。

40

【0094】

それに加えて、少なくともいくつかの実施形態において、閲覧および検索機能は单一のインターフェースに組み込まれる。この方式で、ユーザは、特定の検索語とマッチするリストイングをカテゴリ別に閲覧することができる。同様に、ユーザは、特定のカテゴリで

50

リストティング内を検索することもできる。それに加えて、インターフェースは、検索および閲覧が品目の識別に成功しない場合にユーザが欲しがっている品目を説明している案内広告リストティングを、ユーザが投稿することを可能にし得る。

【0095】

図8は、図100のシステムを使用してユーザアカウントを作成する例示的な方法660を示すフローチャートである。いくつかの実施形態において、方法660の少なくともいくつかのオペレーションは、プロセッサ(図2に示されている、処理デバイス120など)を使用してアカウント管理エンジン290によって実行される。この例では、方法660は、オペレーション662、664、666、668、670、672、674、676、678、680、682、684、686、688、690、および692を含む。

10

【0096】

オペレーション662において、ユーザは、自分が新規ユーザアカウントを作成することを望んでいることを指示する。アカウントは、個人または企業体に関連付けられ得る。少なくともいくつかの実施形態において、企業体に関連付けられているアカウントは、個人にも関連付けられる。

【0097】

オペレーション664において、一意的なユーザ名が選択される。ユーザは、ユーザ名を入力することによってユーザ名を選択し得る。代替的に、アカウント管理エンジン290は、1つまたは複数の候補ユーザ名を提案するものとしてよい。少なくともいくつかの実施形態において、一意的なユーザ名として電子メールアドレスが使用される。

20

【0098】

オペレーション666において、オペレーション664において入力された候補ユーザ名が一意的であるかどうかが決定される。いくつかの実施形態において、ユーザ名の一意性は、候補ユーザ名と全く同じであるユーザ名についてデータベース内のユーザテーブルにクエリを実行することによって検証される。ユーザテーブルにすでに、候補ユーザ名とマッチするユーザ名が入っている場合、ユーザ名は一意的でないと決定される。ユーザ名が一意的でない場合、方法660は、オペレーション664に戻る。

【0099】

オペレーション668において、ユーザは、パスワードを入力する。少なくともいくつかの実施形態において、パスワードは、2回入力されなければならず、かつ一致していなければならない。この方式で、誤字によりパスワードが間違って設定される可能性はより低くなる。それに加えて、パスワードは、最小長、および特定の種類の文字(たとえば、数、記号、小文字、大文字など)を含めることなど、様々なセキュリティ要件を満たすことを前提条件とするものとしてよい。

30

【0100】

オペレーション670において、個人情報が、ユーザによって入力され、アカウント管理エンジン290によって受信されて、検証プロファイルプロセスが開始する。少なくともいくつかの実施形態において、必須個人情報およびオプション個人情報の両方がある。必須個人情報の例は、電子メールアドレス、氏名(たとえば、ファーストネーム、該当する場合にはミドルネームまたはミドルイニシャル、およびラストネーム)、誕生日、個人の社会保障番号の下4桁、企業体の連邦税識別番号、性別、自宅住所、電話番号、銀行口座名、銀行口座番号、および銀行口座の銀行支店コードを含む。少なくともいくつかの実施形態において、必須個人情報はこれよりも多いか、少ないか、または種類が異なる。オプション個人情報の例は、配送先住所(自宅住所と異なる場合)、州発行身分証明書番号の運転免許番号、雇用者名、勤め先住所、学歴、写真、代替電話番号、緊急連絡先、ソーシャルメディアアカウントへのリンク(たとえば、Facebook、Twitter、LinkedIn、Google+、Instagramなど)、ソーシャルメディアアカウントにアクセスし、投稿するための情報(たとえば、ログイン情報)、クレジットまたはデビットカード番号、および身上を含む。少なくともいくつかの実施形態において、オプションの個人情報はこれよりも多いか、少ないか、または種類が異なる。それに加えて、少なくともいくつかの実施形態において、オプシ

40

50

ヨン個人情報の例のうちのいくつかは、必須であってよく、必須個人情報の例のうちのいくつかは、オプションであってよい。

【0101】

入力された個人情報は、保護され、様々なプライバシーポリシーを適用され得る。たとえば、個人情報は、保護され、当事者が取引を行った後にのみ共有され得る。その場合、取引を完了するために必要な個人情報のみ(たとえば、名前と住所)が、当事者間で共有される。

【0102】

オペレーション672において、アカウント情報は検証される。少なくともいくつかの実施形態において、電子メールアドレス、郵送先住所、電話番号、および銀行口座情報のうちの1つまたは複数が検証される。電子メールアドレスは、検証リンクを含む電子メールメッセージを電子メールアドレスに送信することによって検証され得る。郵送先住所は、検証コードを含む手紙を送付することによって検証され得る。電話番号は、入力されるべき検証コードを含むテキストまたは音声メッセージを送信することによって検証され得る。銀行口座は、少額の預け入れまたは引き出しを行うことによって検証され得る。代替的に、個人情報は、異なる技術を使用して検証することもできる。少なくともいくつかの他の実施形態において、これよりも多いか、少ないか、または異なる個人情報が検証される。少なくともいくつかの実施形態において、個人情報の検証は、個人情報の検証が最初に成功しなかった場合に1回または複数回繰り返される。

【0103】

オペレーション674において、個人情報の検証に成功したかどうかが決定される。個人情報の検証に成功した場合、方法660は、オペレーション678に進む。もしそうでなければ、方法660は、オペレーション670に戻り、そこで、ユーザは個人情報をチェックするかまたは更新することができる。少なくともいくつかの実施形態において、ユーザに、個人情報が見直される必要があることを指示する電子メールが送信される。代替的に、個人情報が見直される必要がある場合にログイン後にエラーメッセージがユーザに対して表示される。

【0104】

オペレーション678において、ユーザは、契約条件および料金体系をレビューし、受諾することを求められる。オペレーション680において、ユーザは、検証プロセスをユーザが完了したことを指示する検証バッジ(たとえば、Silver Verified Badge)を授与される。検証バッジは、ユーザのユーザ名の隣にアイコンとして、またユーザのプロファイルページ上に表示され得る。他の実施形態は、ユーザが検証プロセスを完了していることを指示するための他の方法を含む。それに加えて、少なくともいくつかの実施形態において、ユーザは、検証された後にサイトへの完全なアクセス権を付与される(たとえば、ユーザはリストティングを投稿することができる、ユーザはオファーを行うことができる、など)。Silver Verified Badgeを授与することは、ユーザが検証プロセスを完了していることを指示する例示的な一方法である。他の実施形態では、ユーザが検証プロセスを完了していることを指示するために異なる方法が使用される。

【0105】

オペレーション682において、ユーザが様々なオプションの個人情報を入力したかどうかが決定される。少なくともいくつかの実施形態において、オプション個人情報のうちの1つまたは複数の要素が、様々な方法を使用して検証される。ユーザが、オプション個人情報を入力している場合、方法660は、オペレーション684に進み、ユーザは、オプションの検証プロセスをユーザが完了したことを指示する追加の検証バッジ(たとえば、Gold Verified Badge)を授与される。Silver Verified Badgeと同様に、Gold Verified Badgeは、ユーザのユーザ名の隣に、またユーザのプロファイルページ上に表示され得る。Gold Verified Badgeを授与することは、ユーザがオプションの検証プロセスを完了していることを指示する例示的な一方法である。他の実施形態では、ユーザがオプションの検証プロセスを完了していることを指示するために異なる方法が使用される。それに加えて、少な

10

20

30

40

50

くともいくつかの実施形態において、追加のバッジまたは他の完了のしるしを授与する追加の検証プロセスが含まれる。

【0106】

オペレーション686において、ユーザは、プリファレンスを構成することができる。プリファレンスの例は、既定の挙動が、地域、国内、または国際リストイングを閲覧すべきかどうか、既定の時間帯、優先する通貨、および優先するオファー連絡方法(たとえば、電子メール、テキスト、ソーシャルメディアなど)を含む。他の実施形態は、より多い、より少ない、または異なるプリファレンスを含む。

【0107】

オペレーション688において、ユーザは、プロファイル保険証券を購入するよう求められる。いくつかの実施形態は、他の形態の支払い保証を購入する機会も同様に提供する。いくつかの実施形態において、支払い保証は、オンラインマーケット102から購入された保険証券によって提供される。他の実施形態において、支払い保証は、第三者によって提供される保険証券によって提供される。保険証券は、ユーザが締結する取引を所定の補償金額まで補償する。保険の価格は、ユーザの信頼スコアおよび補償額に基づく。それに加えて、いくつかの実施形態において、保険の価格は、ユーザに対する(または他のユーザに対する)与信度(たとえば、FICOスコア)などの追加の要因に基づく。いくつかの実施形態において、ユーザは、与信度を与えることができる。それに加えて、いくつかの実施形態において、与信度は、たとえば、信用調査所によって検証される。保険は、累積取引額が所定の補償額を超えるまですべての取引を補償する。代替的に、保険は、所定の補償額よりも個別に低いすべての取引を補償する。それに加えて、追加の保険は、個別の取引についても購入することができる。他の実施形態も可能である。10

【0108】

ユーザが保険を購入する場合に、方法660はオペレーション690に進む。オペレーション690において、ユーザは、保険バッジを授与される。保険バッジは、ユーザのユーザ名の隣に、またユーザのプロファイルページ上に表示され得る。保険バッジの存在は、保険が取引の不履行を補償するので他方の当事者に安心を与えることができる。この方式で、ユーザは、保険を購入することによって取引を完了する可能性を高めることができる。20

【0109】

オペレーション692において、ユーザの信頼スコアは、少なくとも一部は完了した検証レベルに基づき計算される。信頼スコアを計算するプロセスは、以下でより詳しく説明される。30

【0110】

図9は、取引オファリングのためのオンラインマーケット102上にリストイングを作成する例示的な方法740を示すフローチャートである。いくつかの実施形態において、方法740の少なくともいくつかのオペレーションは、プロセッサ(図2に示されている、処理デバイス120など)を使用してリストイングエンジン292によって実行される。この例では、方法740は、オペレーション742、744、746、748、750、752、754、および756を含む。

【0111】

オペレーション742において、ユーザは、「投稿」を選択して、取引オファリングに対するリストイングを生成し、投稿するプロセスを開始する。ユーザは、ホームページ上のリンクを辿ることによって投稿を選択することができる。代替的に、ユーザは、他のページ上のリンクを辿るか、またはアプリケーションによって生成されたユーザインターフェース内のボタンもしくは他のユーザインターフェース要素をアクティブにすることによって投稿を選択することができる。他の実施形態も同様に可能である。40

【0112】

オペレーション744において、ユーザは、取引オファリングを記述するのに適切なカテゴリおよび1つまたは複数のサブカテゴリを選択する。少なくともいくつかの実施形態において、ユーザは、ユーザインターフェース上に表示される階層リストからカテゴリおよびサブカテゴリを選択する。少なくともいくつかの実施形態において、ユーザインターフ50

エースは、最初に、最上位カテゴリが選択されてしまうまでサブカテゴリを非表示にしておく。次いで、適切なサブカテゴリがリスト内に表示される。それに加えて、少なくともいくつかの実施形態において、ユーザは、取引オファリングを記述するのに適切な複数のカテゴリを選択し得る。他の実施形態も同様に可能である。

【0113】

オペレーション746において、ユーザは、取引オファリングに関する情報を入力する。取引オファリングの種類に応じて、様々な種類の情報が必須またはオプションであってよい。必須情報の例は、タイトル、説明、および所在地を含む。必須取引条件の例は、価格、頭金の金額、金利、支払い回数、支払い頻度、初回支払日、配送オプション(たとえば、出荷、集配、第三者配送など)、および取り置きが利用可能かどうかを含む。オプション情報の例は、写真を含む。オプション取引条件の例は、ホールド額および期間、複数のもしくは調整可能な金利が適用されるかどうか、バルーン方式融資の支払額、自動引き落としが必要かどうか、前払い罰金額、取引オファリングが「AS/IS」で提供されるかどうか、保証が含まれるかどうかおよびその保証条件、保険(または別の形態の支払い保険)が必要かどうか、有効期限があるかどうか(たとえば、購入されているサービスに対して)を含む。それに加えて、いくつかの実施形態において、ユーザは、カウンターオファーが条件の各々について考慮されるかどうかを指定することができる。この方式で、ユーザは、いくつかの条件が交渉可能かどうかをリストティングをレビューするユーザに指示することができる。有利なことだが、これは、当事者がフレキシブルである点に関する交渉に集中し、リストティングを投稿するユーザによって考慮されないオファーを回避することによって取引に関する合意に到達することを円滑にし得る。他の実施形態において、これよりも多いか、少ないか、または異なるオプションおよび必須条件がある。

10

20

【0114】

ホールド額は、指定されたホールド期間の間取引オファリングをホールドするためにユーザが支払うことができる返金不可の金額である。ホールド期間に、リストティングを投稿したユーザが、別のユーザと取引を行うことはない。ホールド額を支払ったユーザが、取引を完了することを選択した場合、ホールド額は、取引に向けて適用される。ユーザがそうしない場合、リストティングを投稿したユーザは、取引オファリング方法をホールドするための補償金として支払った金額を保持する。少なくともいくつかの実施形態において、ホールド期間は、48時間である。他の実施形態も可能である。

30

【0115】

オペレーション748において、提案されたリストティングの条件を表示するユーザインターフェースが提示される。それに加えて、ユーザインターフェースは、提案されたリストティングの条件に基づき予想されるキャッシュフローおよび投資に対する収益のうちの少なくとも1つを表示する。ユーザは、リストティングが投稿される前にこのインターフェースを見る能够である。それに加えて、ユーザは、リストティングが投稿された後、カウンターオファーが受信されたときに、このインターフェースを見る能够である。それに加えて、少なくともいくつかの実施形態において、インターフェースは、リストティングで提案されている条件とオファーのうちの1つまたは複数における条件との比較結果を表示する。

40

【0116】

オペレーション750において、ユーザは、完成したリストティングを見る能够である。ユーザがオンラインマーケットを通じて閲覧するとおりのリストティングを含むユーザインターフェースが生成され得る。少なくともいくつかの実施形態において、ユーザインターフェースは、買手によって指定された取引条件に基づき計算される割賦償却スケジュールも含む。さらに、少なくともいくつかの実施形態において、割賦償却スケジュールは、オンラインマーケット102によって請求される料金を考慮した後に計算される。

【0117】

オペレーション752において、ユーザがリストティングを承認するかどうかが決定される。ユーザがリストティングを承認する場合、方法740は、オペレーション754に進み、そこで

50

、リストイングが投稿され、他のユーザから見ることができるようになる。リストイングが承認されない場合、方法740は、オペレーション756に進み、そこで、ユーザは、リストイングを編集することができる。

【0118】

図10は、システム100とともにリストイングのウォンテッドカテゴリを使用する別の例示的な方法810を示すフローチャートである。いくつかの実施形態において、方法810の少なくともいくつかのオペレーションは、プロセッサ(図2に示されている、処理デバイス120など)を使用してリストイングエンジン292によって実行される。この例では、方法810は、オペレーション812、814、816、および818を含む。

【0119】

オペレーション812において、ユーザは、「Wanted」カテゴリを選択する。「Wanted」カテゴリは、ホームページから、または項目を投稿している間に、選択することができる。他の実施形態も同様に可能である。

【0120】

オペレーション814において、ユーザは、「Wanted」カテゴリに投稿することを選択できる。「Wanted」カテゴリに投稿するプロセスは、リストイングを投稿する方法740に類似している。しかしながら、少なくともいくつかの実施形態において、「Wanted」カテゴリ内のリストイングは、取引条件のどれかが指定されることを必要としない。さらに、少なくともいくつかの実施形態において、ユーザは、適宜、「Wanted」リストイング内のいくつかの取引条件を指定することができる。

【0121】

オペレーション816において、リストイングが投稿され、オンラインマーケット102の他のユーザによって見ることができるようになる。オペレーション818において、別のユーザは、「Wanted」リストイングをレビューし、「Wanted」要求を履行するためのオファーを行うことによって応答することができる。少なくともいくつかの実施形態において、「Wanted」リストイングのうちの少なくともいくつかをリストするユーザインターフェースが生成される。有益なことだが、このユーザインターフェースは、ユーザが「Wanted」リストイングをレビューし、「Wanted」リストイングを供給するオファーを行うことを許す。ユーザは、受信される関心を通じてリストイング内で要求される取引オファリングを提供することによって利益を得ることができる。それに加えて、取引オファリングを望んでいる当事者は、ファイナンスが店舗において利用可能でない場合であっても、第三者からのファイナンスでそれを獲得することができる。

【0122】

図11は、システム100を使用して取引について合意する例示的な方法870を示すフローチャートである。いくつかの実施形態において、方法870の少なくともいくつかのオペレーションは、プロセッサ(図2に示されている、処理デバイス120など)を使用してホールドエンジン296および取引エンジン298によって実行される。この例では、方法870は、オペレーション872、874、876、878、880、882、884、886、888、890、892、894、896、898、および900を含む。

【0123】

オペレーション872において、閲覧ユーザが、リストイングユーザによって投稿された取引オファリングをホールドするか、取引オファリングに対するオファーを行うか、または取引オファリングに対するカウンターオファーを行うことを望んでいるかどうかが決定される。閲覧ユーザがオファーを行うことを望んでいる場合、方法はオペレーション874に進む。閲覧ユーザがカウンターオファーを行うことを望んでいる場合、方法はオペレーション894に進む。閲覧ユーザが取引オファリングをホールドすることを望んでいる場合、方法はオペレーション898に進む。

【0124】

オペレーション874において、閲覧ユーザは、オファーに対する期限を入力する。オペレーション876において、閲覧ユーザは、オファーに関する連絡に対する好ましい方法を

10

20

30

40

50

選択する。閲覧ユーザが、好ましい方法を入力しない場合に、閲覧ユーザの既定の連絡方法が使用される。

【0125】

オペレーション878において、閲覧ユーザは、取引に対する保険を購入するかどうかを決定することを求められる。ユーザインターフェースは、保険の費用と、閲覧ユーザが保険を購入するかどうかを指示するためにアクティブにすることができるユーザインターフェース要素とを表示するものとしてよい。閲覧ユーザが保険を購入することを選択した場合、方法はオペレーション880に進み、そこで、保険が購入される。それに加えて、少なくともいくつかの実施形態において、閲覧ユーザは、一般保険証券を取引に適用することを選択することができる。それに加えて、いくつかの実施形態において、閲覧ユーザは、取引に対する別の形態の支払い保証を購入する(または他の何らかの形で取得する)ことができる。同様に、リストティングユーザも同様に、ある形態の支払い保証を取得することを選択し得る。少なくともいくつかの実施形態において、ある形態の支払い保証(どのユーザがそれを取得しているかどうかに関係なく)を取得するために支払われる価格は、閲覧ユーザの与信度および信頼スコアのうちの1つまたは複数に基づくものとしてよい。それに加えて、または代替的に、いくつかの実施形態において、ある形態の支払い保証を取得するために支払われる価格は、他の要因に基づき得る。10

【0126】

オペレーション882において、閲覧ユーザは、オファーをレビューすることができ、これはオファーの取引条件に基づく割賦償却スケジュールを含む。オペレーション884において、閲覧ユーザは、オファーを行うかどうかを決定する。いくつかの実施形態において、オファーが行われるべきかどうかを指示することを閲覧ユーザに求めるユーザインターフェースが提示される。いくつかの実施形態において、ユーザインターフェースは、オファーが「ウォークアウェイファイナルオファー(walk away final offer)」であることをいずれかのユーザが指示することを可能にし得る。この方式で、ユーザは、さらなる交渉をバイパスするか、または打ち切ることができる。閲覧ユーザが、オファーが行われるべきであることを指示する場合、方法は、オペレーション886に進み、そこで、閲覧ユーザは、取引の存続期間中にオファーの支払い条件を受諾することを求められる。その代わりに、閲覧ユーザがオファーが行われるべきでないことを指示している場合、方法はオペレーション894に進む。20

【0127】

閲覧ユーザが支払い条件を受諾した後、オファーが、投稿ユーザに連絡される。オペレーション888において、閲覧ユーザおよび投稿ユーザは両方とも、信頼スコア、個別の評価、取引コイン授与、およびバッジを含む、互いのプロファイルをレビューすることができる。30

【0128】

オペレーション890において、投稿ユーザは、オファーを受諾するかどうかを決定する。オファーが受諾された場合、方法は、オペレーション892に進む。オペレーション892において、閲覧ユーザおよび投稿ユーザは、合意に達したとの通知を受ける。それに加えて、他のオファーが取引オファリングについて保留になっている場合、他のオファーを行ったユーザは、取引オファリングがもはや利用可能でないという通知を受ける。通知は、まだ利用可能である他の類似の取引オファリングへのリンクを含み得る。いくつかの実施形態において、ハンドシェークのグラフィック表現を含むユーザインターフェースが生成される。有益なことだが、このハンドシェークは、交渉の結果を記号化したものである。40

【0129】

代替的に、投稿ユーザがオファーを受諾しない場合、方法は、オペレーション894に進み、そこで、投稿ユーザは、カウンターオファーを行うかどうかを決定することを求められる。投稿ユーザがカウンターオファーを行うことを望んでいる場合、方法はオペレーション896に進む。投稿ユーザは、複数の他のユーザから複数のオファーを受けることができるが、少なくともいくつかの実施形態において、オンラインマーケット102は、1度に150

人のユーザのみとのアクティブな交渉を行うことを投稿ユーザに許す。たとえば、オンラインマーケット102は、投稿ユーザが1度に1つの単一のカウンターオファーを行うことのみを許し得る。他の実施形態も同様に可能である。

【0130】

オペレーション896において、ユーザ(すなわち、状況に応じて閲覧ユーザまたは投稿ユーザ)は、他のユーザに対するカウンターオファーの取引条件を調整することを求められる。少なくともいくつかの実施形態において、取引条件のすべてを表示し、取引条件のうちの少なくともいくつかを調整するためのユーザインターフェース要素を含むユーザインターフェースが生成される。それに加えて、少なくともいくつかの実施形態において、ユーザインターフェースは、閲覧ユーザが投稿ユーザが交渉可能であると指示している取引の条件を調整することのみを許す。少なくともいくつかの実施形態において、閲覧ユーザは、支払い計画における特定の数の最終支払いが事前に支払われることを指定し得る(または投稿ユーザが要求し得る)。たとえば、閲覧ユーザは、オファーをより魅力的にするために提案されている支払い計画の下で必要な最終支払いを事前に支払うようにオファーすることができる。代替的に、閲覧ユーザは、支払い計画の下で最終支払いのうちの複数(たとえば、最後の2つ、3つ、またはそれ以上)を事前支払いするオファーを行い得る。取引で指定され得る多くの条件があるが、少なくともいくつかの実施形態において、ユーザは、中間支払いに対して支払い価格を単純に指定することができる(たとえば、「Buy Now」オプション)。これらの取引において、閲覧ユーザおよび投稿ユーザは、支払い計画に合意する必要はない。10

【0131】

オペレーション898において、閲覧ユーザは、ホールドするオファーに対する期限を入力することを求められる。少なくともいくつかのいくつかの実施形態において、このオペレーションは、既定の期限または投稿ユーザによって指定された期限がその代わりに使用されるので実行されない。20

【0132】

オペレーション900において、閲覧ユーザは、ホールド支払いをレビューし、受諾することを求められる。少なくともいくつかの実施形態において、閲覧ユーザは、投稿ユーザがそれを受諾した場合にホールド支払いを行うように束縛される。それに加えて、少なくともいくつかの実施形態において、投稿ユーザは、事前承認したホールド額およびホールド期間を指定する。これらの実施形態において、閲覧ユーザがホールド支払いを確認するやいなや、支払いが処理される。次いで、閲覧ユーザは、ホールド期間が経過するまで投稿ユーザによって指定された条件について取引に合意しなければならない。30

【0133】

図12は、システム100を使用して取引を処理する例示的な方法930を示すフローチャートである。例示的な目的で、この方法930は、買手および売手に関して説明される。買手および売手は、サービスプロバイダおよびサービス取得者、さらには貸手/賃貸人および借手、地主、およびテナントなどを含むものとしてよい。いくつかの実施形態において、方法930の少なくともいくつかのオペレーションは、プロセッサ(図2に示されている、処理デバイス120など)を使用して支払いエンジン300、再交渉エンジン302、評議エンジン304、および保険エンジン306によって実行される。この例では、方法930は、オペレーション932、934、936、938、940、942、944、946、948、950、952、954、956、および958を含む。40

【0134】

オペレーション932において、初回支払いが買手から受け取られたかどうかが決定される。少なくともいくつかの実施形態において、支払いは、オンラインマーケット102に対して行われる。支払いは、クレジットカード、デビットカード、銀行口座引き落とし、支払いサービス(たとえば、PayPal、Google Pay、Amazon Paymentsなど)、および仮想通貨(たとえば、Bitcoin)交換を含む、様々な技術を使用して行うことができる。支払いが取引条件に従って受け取られた場合、方法はオペレーション934に進む。そうでない場合、方50

法はオペレーション948に進む。

【0135】

オペレーション934において、支払いは、支払いエンジン300によって処理される。いくつかの実施形態において、支払いエンジン300は、支払いからオンラインマーケット102の手数料を差し引き、それらの手数料を買手と売手との間で分けることができる。たとえば、手数料の50パーセントが買手が行う支払いに対して追加されるものとしてよく、残金は、売手が受け取るべき支払いから差し引かれる。少なくともいくつかの実施形態において、手数料を差し引いた支払いは、売手の銀行口座に預け入れられる。他の実施形態では、手数料は、売手によって全部、または買手によって全部支払われる。支払いが処理された後、成功した支払いの通知が、買手と売手の両方に(たとえば、電子メール、テキストメッセージ、ソーシャルメディア、音声メール、郵便などを介して)伝えられる。他の実施形態も同様に可能である。10

【0136】

いくつかの実施形態において、支払いは、オンラインマーケット102(または別の第三者)によって、予め定められている期間(たとえば、72時間、1週間、2週間、もしくは1ヶ月)、または特定の事象の発生まで(たとえば、取引オファリングが配送/実行される、買手が取引オファリングの満足のいく配送/実行を了承する、など)ホールドされる。この方式で、いくつかの実施形態は、売手が合意したとおりに取引を完了するという買手に対する追加の担保(たとえば、「Deal Assurance」)を提供する。いくつかの実施形態において、売手が取引を完了しない場合、支払いは買手に返金され、売手は、不履行手数料を課金され得る。いくつかの実施形態においては、初回支払いのみがオンラインマーケット102によってホールドされ、他の実施形態では、追加の(またはすべての)支払いがオンラインマーケット102によってホールドされる。たとえば、いくつかの実施形態において、支払いは、随時オンラインマーケット102によって受け取られるものとしてよいが、毎週、隔週、または毎月のスケジュールで売手に払い出される。20

【0137】

初回支払いが受け取られた後、買手および売手は、1回だけ互いに評価し、レビューすることができる。代替的に、買手および売手は、すべての支払いがなされ、取引が完了した後にのみ互いを評価することができる。ユーザを評価しレビューするプロセスは、以下でより詳しく説明される。それに加えて、少なくともいくつかの実施形態において、買手および売手は、ユーザプロファイル内の互いに関する追加の個人情報(たとえば、連絡先情報)を見ることができる。いくつかの実施形態において、個人情報のうちの少なくとも一部(たとえば、連絡先情報)は、買手の個人情報および売手の個人情報のプライバシーを尊重するなどのために、取引が行われ、拘束力のある契約が交わされた後にのみ買手と売手との間で利用可能にされる。それに加えて、取引は、ユーザインターフェース上の未決済取引のリストに示され得る。リストは、割賦償却スケジュール、および取引に関する他の情報を含み得る。いくつかの実施形態において、買手または売手のいずれかは、ユーザインターフェースを使用して取引条件に対する変更を提案することができる。しかしながら、取引条件への変更は、買手と売手の両方が、ユーザインターフェースを使用して変更に対する合意を指示する場合にのみ有効になる。30

【0138】

オペレーション936において、取引を表す着色していない取引コインが買手および売手に授与される。取引コインは、取引が全部実行されたときに全部着色される。取引の合計額に応じて、異なる種類の取引コインが授与される。取引コインは、以下でより詳しく説明される。

【0139】

オペレーション938において、売手は取引条件に基づき配送または実行する。少なくともいくつかの実施形態において、売手は、ユーザインターフェースを使用して取引に対する追跡番号または他の出荷もしくは実施情報を記録することができる。しかしながら、少なくともいくつかの実施形態において、売手は、すべての支払いが完了した後になるまで40

取引オファリングを配送しない。たとえば、いくつかの実施形態では取り置き取引をサポートしており、取引オファリングは、すべての支払いがなされた後に買手に提供される。

【0140】

オペレーション940において、買手が取引条件に従って取引オファリングを受け取ったかどうかが決定される。いくつかの実施形態において、買手は、ユーザインターフェースを使用して取引オファリングの受け取りに成功したことを指示し得る。取引オファリングの受け取りが成功した場合、方法はオペレーション942に進む。取引オファリングの受け取りが成功しなかった場合、方法はオペレーション952に進む。

【0141】

オペレーション942において、将来の支払いは、取引条件に基づき行われる。少なくともいくつかの実施形態において、将来の支払いは、買手によって指定された支払い方法に基づき自動的に行われる。いくつかの実施形態において、支払い方法は、支払いを行うのに使用する商業アカウント(たとえば、銀行口座、クレジットカード、デビッドカード、PayPalアカウントなど)を識別する。いくつかの実施形態において、買手は、取引全体を通して1回または複数回支払い方法を変更することができる。

【0142】

オペレーション944において、支払いが受け取られたかどうかが決定される。支払いが受け取られた場合、方法は、オペレーション946に進む。支払いが受け取られなかった場合、方法は、オペレーション948に進む。

【0143】

オペレーション946において、支払いは処理される。少なくともいくつかの実施形態において、支払いの処理が成功するごとに買手および売手に通知が送られる。それに加えて、少なくともいくつかの実施形態において、最終回支払いが完了した後、買手および売手に授与された取引コインは、完全に着色される。

【0144】

オペレーション948において、買手の不履行が処理される。少なくともいくつかの実施形態において、不履行に関する通知が買手および売手に配信される。それに加えて、いくつかの実施形態において、取引に対する売手の取引コインは取り除かれ、買手の取引コインは、買手がこの取引の履行を怠ったことを他者に警告するために変色させられる。いくつかの実施形態において、ユーザインターフェースは、不履行に対する解決を私的に行うために買手および売手のためにツールを用意している。

【0145】

オペレーション950において、取引保険は、それが利用可能であれば適用される。この方式で、保険は、失われた支払いの一部または全部を賄うことができる。

【0146】

オペレーション952において、これは取引オファリングが受け取られないときに実行され、買手は論争解決プロセスを開始する。いくつかの実施形態において、買手は、ユーザインターフェースを使用して、論争を解決するためのメッセージを売手に送信するものとしてよく、論争は、買手と売手との間で私的に解決され得る。それに加えて、いくつかの実施形態において、買手は、ユーザインターフェースを使用して、オンラインマーケットの論争解決センターに苦情を申し立てる。苦情は、取引条件に従って取引オファリングが配送または実行されない場合に申し立てられるものとしてよい。

【0147】

オペレーション954において、売手が不履行状態にあるかどうかが決定される。買手および売手は、ユーザインターフェースを使用して情報を論争解決センターに提出することができる。いくつかの実施形態において、オンラインマーケット102は、取引条件に従って売手が取引オファリングを実行し配送したか、または実行したかを決定し得る。売手が不履行にあると判明した場合、方法は、オペレーション956に進む。売手が不履行していないと判明した場合、方法は、オペレーション942に進む。

【0148】

10

20

30

40

50

オペレーション956において、売手不履行は処理される。一般的に、売手不履行は、オペレーション948の買手不履行に類似する方式で処理される。しかしながら、取引コインは、売手の不履行が生じたときには異なる仕方で処理される。少なくともいくつかの実施形態において、取引に対する買手の取引コインは取り除かれ、売手の取引コインは、売手がこの取引の履行を怠ったことを他者に警告するために変色させられる。

【0149】

オペレーション958において、買手は、保険が購入されているか、または取引に適用された場合に頭金の返金を受ける。

【0150】

図13は、システム100を使用してユーザを評価する例示的な方法990を示すフローチャートである。いくつかの実施形態において、方法990の少なくともいくつかのオペレーションは、プロセッサ(図2に示されている、処理デバイス120など)を使用して評判エンジン304によって実行される。この例では、方法990は、オペレーション992、996、998、1000、1002、1004、および1006を含む。

10

【0151】

オペレーション992において、レビューウェブページは、評価またはレビューするユーザを選択する。少なくともいくつかの実施形態において、レビューウェブページは、すべての未決済取引をリストしているウェブページ上のリンクを辿ることによってレビューするユーザを選択することができる。それに加えて、いくつかの実施形態において、レビューウェブページは、ユーザプロファイルウェブページまたはインターフェース上に表示されているリンクを辿ることもできる。レビューウェブページは、別のユーザと取引を行った後に評価を行ってよく、レビューはそのユーザに対する1つの評価を与えることができる。いくつかの実施形態において、評価およびレビューは、取引の存続期間にわたって編集され得る。代替的に、評価およびレビューは、評価ユーザとユーザとの間で取引がアクティブであるときにいつでも編集できる。さらに別の代替として、評価およびレビューは、いくつかの実施形態において入力された後には編集され得ない。他の実施形態も同様に可能である。

20

【0152】

オペレーション994において、レビューウェブページが選択されたユーザとのアクティブな取引を有しているかどうかが決定される。少なくともいくつかの実施形態において、取引は、すべての支払いが済むまでアクティブであると考えられる。代替的に、取引は、最終回支払いがなされた後の所定の期間内にアクティブであると考えられる。レビューウェブページが選択されたユーザとのアクティブな取引を有していると決定された場合、方法は、オペレーション996に進む。その代わりに、レビューウェブページが選択されたユーザとのアクティブな取引を有していない場合、方法は、オペレーション1006に進み、そこで、選択されたユーザをレビューする評価が現在許可されていないことを指示するようにインターフェースが更新される。

30

【0153】

オペレーション996において、レビューウェブページが選択されたユーザをすでに評価しているかどうかが決定される。たとえば、レビューウェブページが選択されたユーザをすでに評価しているかどうかを決定するために、マッチするレコードがないかデータベース110内の取引レビューデータ368にクエリが実行され得る。レビューウェブページが、選択されたユーザをすでにレビューしている場合、方法は、オペレーション998に進み、以前の評価およびレビューが、編集可能なようにインターフェースに表示される。そうでない場合、方法はオペレーション1000に進む。

40

【0154】

オペレーション1000において、レビューウェブページは、選択されたユーザの定量的評価を与える。定量的評価の例は、数値スコアおよび文字グレードスコアを含む。いくつかの実施形態において、定量的評価は、星の数として入力される。星の最大数は、5であり得るか、または異なる数であってもよい。

【0155】

50

オペレーション1002において、書かれたレビューが入力される。いくつかの実施形態において、書かれたレビューはオプションである。それに加えて、いくつかの実施形態は、書かれたレビューを含まない。

【0156】

オペレーション1004において、ユーザ信頼スコアおよび平均定量的スコアが更新される。たとえば、定量的スコアが星に基づく場合、星5個から評価する。ユーザ平均定量的スコアは、オペレーション1002で入力された星の数に基づき更新される。平均定量的スコアは、アカウントが作成された以降に選択されたユーザによって完了したすべての取引にわたって受けた星の平均個数に基づくものとしてよい。代替的に、平均定量的スコアは、指定された期間(たとえば、過去6ヶ月間に)内に完了したすべての取引にわたって受けた星の平均個数に基づく。それに加えて、選択されたユーザの信頼スコアは、オペレーション1002で入力された評価に基づき更新される。10

【0157】

図14は、システム100を使用して取引のための取引コインを生成し、更新する例示的な方法1030を示すフローチャートである。いくつかの実施形態において、方法1030の少なくともいくつかのオペレーションは、プロセッサ(図2に示されている、処理デバイス120など)を使用して評議エンジン304によって実行される。この例では、方法1030は、オペレーション1032、1034、1036、1038、1040、1042、1044、1046、および1048を含む。

【0158】

少なくともいくつかの実施形態において、ユーザが参加した取引を表すために、取引コインがユーザに授与される。いくつかの実施形態は、取引の価値に応じて異なる種類の取引コインを授与する。たとえば、\$0～250の価値を有する取引は、ブロンズ取引コインを授与され、\$251～1500の価値を有する取引は、シルバー取引コインを授与され、\$1501～5000の価値を有する取引は、ゴールド取引コインを授与され、\$5000を超える価値を有する取引は、プラチナ取引コインを授与される。いくつかの実施形態において、ユーザに授与された取引コインを表示するユーザインターフェースがユーザに対して生成される。例示的なユーザインターフェースは、ユーザに関する様々な追加のプロファイル情報も含む。有益なことだが、第2のユーザは、ユーザと取引を行うかどうかを決定するときにこのプロファイル情報を考慮することができる。20

【0159】

いくつかの実施形態において、ユーザインターフェースは、取引コインタイプを表す色でユーザに授与される様々な取引コインを表示する。それに加えて、少なくともいくつかの実施形態において、取引コインタイプまたは取引コインタイプを表す文字も、同様に、ユーザインターフェース上に表示される。取引コインタイプの他のしるしも、同様に、他の実施形態に含まれる。たとえば、取引コインは、取引コインタイプを示す見出しの下で取引コインタイプによってグループ分けされ得る。それに加えて、少なくともいくつかの実施形態において、ユーザインターフェースは、取引におけるユーザの役割を指示する取引コイン上の文字を表示する。たとえば、文字BまたはSは、それぞれユーザが買手または売手であったことを指示するために取引コイン上に表示され得る。30

【0160】

いくつかの実施形態において、取引コインは最初に授与されたときには、完全な着色をされていない。ユーザインターフェースは、透明または部分的に透明な色で取引コインを示すものとしてよい。次いで、取引が実行されると、取引コインはより強く着色される。たとえば、取引コインは、実行される取引が多くなるほど透明度が低くなるものとしてよい。代替的に、すでに完了している取引の部分に対応する取引コインの一部は、着色され得る。たとえば、特定の取引に必要な支払いのうちの50パーセントが済んだときに、対応する取引コインの50パーセントが着色され得る。他の実施形態も同様に可能である。40

【0161】

当事者の1人が取引の遂行時に履行を怠った場合、取引コインはしかるべき更新される。少なくともいくつかの実施形態において、ユーザインターフェースは、違反した当事者50

に対する変色した取引コインを表示するように更新される。それに加えて、いくつかの実施形態において、その取引コインは、不履行のないユーザのプロファイルから単純に取り除かれる。少なくともいくつかの実施形態において、ユーザは、他方の当事者の満足のいくように不履行を解決することによって取引コインから変色を取り除くものとしてよい。これらの実施形態において、ユーザインターフェースは、不履行が解決された後変色なしで取引コインを表示するように更新される。代替的に、ユーザは、変色した取引コインに関連付けられている取引の価値以上の価値を各々有する所定の数(たとえば3つ)の取引を成功裏に実行することによって変色した取引コインを取り除くことができる。これらの実施形態において、変色した取引コインは、追加の取引の完了が成功したことで変色した取引コインが取り除かれた後に不履行ユーザのプロファイル上に単純に示されなくなる。

10

【0162】

いくつかの実施形態において、所定の量の取引コインの種類が蓄積されたときに、ユーザインターフェースは、取引コインの袋を表示する。たとえば、ユーザインターフェースは、ユーザが5個のブロンズ取引コインを受け取った後に取引コインの袋を表示し得る。

【0163】

少なくともいくつかの実施形態において、オンラインマーケットは、ユーザが取引コインを使用して他のユーザへの支払いを行うか、または手数料を支払うことを可能にするようにも動作する。たとえば、取引コインは、仮想通貨として働き得る。代替的に、取引コインは、支払いバウチャーに対して売買することができる。たとえば、ブロンズ取引コインは、ブロンズレベルの支払いバウチャーに対して売買することができる。他の実施形態も同様に可能である。

20

【0164】

オペレーション1032において、第1のユーザからのオファーは第2のユーザによって受諾され、頭金が、取引条件に従って第2のユーザによって第1のユーザに支払われる。オペレーション1034において、無着色の取引コインは、取引が行われたことを指示するためにユーザに授与される。オペレーション1036において、取引条件に従って次回支払いが受け取られたかどうかが決定される。もしそうであれば、方法は、オペレーション1038に進む。もしそうでなければ、方法はオペレーション1046に進み、そこで不履行が処理される。

【0165】

オペレーション1038において、取引コインの色は、支払いが行われたことを反映するように更新される。オペレーション1040において、ユーザの信頼スコアは、支払いが行われたことを反映するように更新される。信頼スコアは、以下でより詳しく説明される。オペレーション1042において、最終回支払いが受け取られたかどうかが決定される。もしそうであれば、方法はオペレーション1044に進み、そこで取引コインが完全に着色される。そうでない場合、方法はオペレーション1036に戻る。

30

【0166】

オペレーション1046において、不履行が処理される。少なくともいくつかの実施形態において、不履行ユーザの取引コインは、不履行によって変色し、不履行でないユーザの取引コインは、取り除かれる。オペレーション1048において、ユーザの信頼スコアは、不履行を反映するように更新される。

40

【0167】

図15は、のシステム100を使用してユーザ信頼スコアを計算する例示的な方法1080を示すフローチャートである。いくつかの実施形態において、方法1080の少なくともいくつかのオペレーションは、プロセッサ(図2に示されている、処理デバイス120など)を使用して評判エンジン304によって実行される。この例では、方法1080は、オペレーション1082、1084、1086、1088、および1090を含む。

【0168】

オペレーション1082において、取引コインスコアは、獲得した取引コインの個数および変色した取引コインの個数に基づきユーザについて計算される。少なくともいくつかの実施形態において、取引コインスコアは、ユーザは、オンラインマーケット102にアカウン

50

トを作成した以降のユーザの取引に基づく。代替的に、取引コインスコアは、特定の期間(たとえば、過去2年間)のユーザの取引に基づく。少なくともいくつかの実施形態において、取引コインスコアは、変色した取引コインと獲得した取引コインの合計との比に基づく。さらに、いくつかの実施形態において、獲得した取引コインの総数は、スコアを計算する際に、または閾値としても使用され得る。たとえば、最高の取引コインスコアは、ユーザは変色した取引コインを有せず、少なくとも10個の総取引コインが獲得されたときに計算され得る。他の実施形態も同様に可能である。

【 0 1 6 9 】

オペレーション1084において、ユーザ評価に基づく平均評価が計算される。いくつかの実施形態において、平均評価は、ユーザが受信したユーザ評価のすべての単純平均に基づく。代替的に、平均ユーザ評価は、ユーザ評価の加重平均として計算される。たとえば、評価は、過去の評価よりも最近の評価に、より重い加重を与えるように加重され得る。代替的に、評価は、取引の価値に基づき加重され得る。別の代替的形態として、評価は、評価を提供したユーザの評価に基づき加重され得る。この方式で、評判のよいユーザからの評価は、他のユーザからよりも重く加重される。他の実施形態も同様に可能である。10

【 0 1 7 0 】

オペレーション1086において、検証レベルスコアは、ユーザによって提供される検証情報に基づき計算される。たとえば、検証レベルスコアの1は、ユーザがSilver Verified Badgeを授与された場合に計算されるものとしてよく、検証レベルスコアの2は、ユーザがGold Verified Badgeを授与された場合に計算されるものとしてよい。他の実施形態において、他の値が割り当てられる。それに加えて、いくつかの実施形態において、他の検証レベル(バッジ)も同様に使用される。20

【 0 1 7 1 】

オペレーション1088において、ユーザ信頼スコアは、オペレーション1082で計算された取引コインスコア、オペレーション1084で計算された平均評価、およびオペレーション1086で計算された検証レベルスコアに基づき計算される。少なくともいくつかの実施形態において、取引コインスコア、平均評価、および検証レベルスコアは、スケーリングされ、平均化される。たとえば、取引コインスコア、平均評価、および検証レベルスコアは、0 ~ 100の範囲に合わせてスケーリングされ得る。この方式で、ユーザ信頼スコアは、取引コインスコア、平均評価、および検証レベルスコアの等加重に基づく。代替的に、取引コインスコア、平均評価、および検証レベルスコアは、スケーリングされ、次いで、加重平均と組み合わされる。いくつかの実施形態において、取引コインスコアは、平均ユーザ評価スコアよりも重い加重がなされ、平均ユーザ評価は、検証レベルスコアよりも重い加重がなされる。たとえば、少なくともいくつかの実施形態において、取引コインスコアは60 %の加重を受け、平均ユーザ評価スコアは30%の加重を受け、検証レベルスコアは10%の加重を受ける。他の実施形態は、異なる加重を使用する。それに加えて、いくつかの実施形態において、ユーザ信頼スコアは、様々な公開または私的ソースから収集されたデータなどの、追加の要因にも基づく。たとえば、いくつかの実施形態において、ユーザ信頼スコアは、ユーザがオンラインマーケット102の特定のセクションを見るか、またはそれとインタラクションするのに費やした時間に関係するデータに基づきさらに調整される。その信頼スコアを計算するためにいくつかの実施形態によってさらに使用される要因の1つまたは複数は、公共料金の支払い履歴、ユーザに関連付けられている電子メールアドレスの数およびユーザがどれだけの期間電子メールアドレスを有していたか、ならびにソーシャルメディアサイトおよび様々な他の公開および私的ソースからの社会的評判情報である。3040

【 0 1 7 2 】

オペレーション1090において、オペレーション1088において計算されたユーザ信頼スコアは、ユーザによって投稿されたリストティングおよびユーザによってなされたオファーの隣に表示される。有益なことだが、これは、リストティングに関心のあるユーザが取引を行う前にリストティングを投稿したユーザの信頼度を考慮することを可能にする。同様に、リストティングを投稿するユーザは、オファーを受諾する前にオファーを送信したユーザの信50

頼度を評価することができる。信頼スコアは、投稿ユーザがオファーを行うユーザに対してファイナンスを提供するかどうかを決定するのを補助することができる。少なくともいくつかの実施形態において、信頼スコアは、信頼スコアを計算するために使用された取引の回数とともに表示される。たとえば、98/3の信頼スコアは、3件の取引にわたって98の信頼スコアが獲得されたことを指示するように表示され得る。

【0173】

図16は、近傍エンジン308およびユーザインターフェースエンジン312によって生成される近傍インターフェース1140の例示的なレイアウトを示すブロック図である。近傍インターフェース1140は、ネイバーリスト1142、オファーリングリスト1144、連絡先ネイバー要素1146、およびネイバー追加要素1184を含む。10

【0174】

近傍リスト1142は、ユーザの近傍に加えられたオンラインマーケット102の他のユーザの一部または全部を示すように動作する。ユーザは、「ネイバーになりますか?」という要求などの、ネイバー要求を受諾した後に近傍に追加される。ユーザは、他のユーザまたはさらには非ユーザをネイバーとなるように招待することができる。ユーザが、非ユーザをネイバーとなるように招待し、非ユーザが受諾した場合、ユーザは、オンラインマーケット102上で手数料または取引オファーリングに対する支払いを行うために使用できるバウチャーなどのインセンティブをオンラインマーケット102から受け取ることができる。ユーザは、別のユーザのプロファイルを見ている間、または様々なソーシャルメディアアカウントを通じてなどの様々なやり方でネイバーに招待を送信することができる。他の実施形態も同様に可能である。20

【0175】

この例では、ネイバーリスト1142は、ネイバープロファイル1148aおよび1148bを示す。この例では、ネイバーリスト1142は、追加のネイバーを示すスクロールまたはスワイプ機能を備える。他の実施形態も同様に可能である。

【0176】

ネイバープロファイル1148aおよび1148bは、写真要素1150aおよび1150b、名前要素1152aおよび1152b、信頼スコア要素1154aおよび1154b、検証レベルバッジ要素1156aおよび1156b、取引コイン要素1158aおよび1158b、ならびに連絡先要素1160aおよび1160bを含む。少なくともいくつかの実施形態において、ネイバープロファイル1148aおよび1148bは、より多い、より少ない、または異なる要素を備える。30

【0177】

写真要素1150aおよび1150bは、適宜、ユーザがアップロードしたユーザの写真を示す。名前要素1152aおよび1152bは、ユーザの名前を示す。

【0178】

信頼スコア要素1154aおよび1154bは、ユーザの信頼スコアを示す。この例では、信頼スコア要素1154aは、3件の取引で98の信頼スコアが獲得されたことを指示する「98/3」の信頼スコアを示している。信頼スコア要素1154bは、16件の取引で96の信頼スコアが獲得されたことを指示する「96/6」の信頼スコアを示している。それに加えて、いくつかの実施形態において、信頼スコア要素1154aおよび1154bは、信頼スコアを計算するために使用された個別の構成要素および取引データを見るためにアクティビ化され(たとえば、クリックもしくはタッチで)、使用され得るユーザインターフェース要素である。40

【0179】

取引コイン要素1158aおよび1158bは、ユーザによって獲得された取引コインを示している。この例では、取引コイン要素1158aは、部分的にのみ完了している取引コインを示しており、これは取引コインによって表される取引が進行中であり、部分的にしか完了していないことを指示する。取引コイン要素1158bは、完了している取引コインを示しており、これは取引コインによって表される取引が完了していることを指示する。取引コイン要素1158aおよび1158bの各々において単一の取引コインのみが示されているが、他の実施形態では、複数の取引コインが示される。50

【 0 1 8 0 】

連絡先要素1160aおよび1160bは、ユーザと連絡をとるためにアクティブ化され得るユーザインターフェース要素である。いくつかの実施形態において、連絡先要素1160aおよび1160bをアクティブ化することで、メッセージをユーザに送信するために使用され得るフォームを開く。いくつかの実施形態において、メッセージは、電子メール、テキストメッセージング、またはソーシャルメディアを使用して送信される。それに加えて、いくつかの実施形態において、メッセージは、オンラインマーケット102内のユーザのインボックスに送信される。連絡先要素1160aおよび1160bは、特定の取引オファリングを購入または販売するようネイバーを勧誘するメッセージを送信するために使用され得る。それに加えて、連絡先要素1160aおよび1160bは、また、第三者の支払人としてオファリングの対価を支払うことを助けるようにネイバーを勧誘するためにも使用され得る。有益なことだが、これは、慈善事業、友人、または家族に対する特定の取引オファリングを購入するために使用され得る。

10

【 0 1 8 1 】

オファリングリスト1144は、近傍内のユーザから利用可能な取引オファリングの一部または全部を示すように動作する。この例では、オファリングリスト1144は、取引オファリングパネル1170aおよび1170bを示す。この例では、オファリングリスト1144は、ネイバーからの追加のオファリングを示すスクロールまたはスワイプ機能を備える。他の実施形態も同様に可能である。それに加えて、いくつかの実施形態において、オファリングリスト1144は、リスト内のオファリングをフィルタリングするか、または検索するユーザインターフェース要素を備える。

20

【 0 1 8 2 】

取引オファリングパネル1170aおよび1170bは、タイトル要素1172aおよび1172b、写真要素1174aおよび1174b、取引条件要素1176aおよび1176b、ホールド要素1178aおよび1178b、オファーを行う要素1180aおよび1180b、ならびにオファー調整要素1182aおよび1182bを備える。少なくともいくつかの実施形態において、取引オファリングパネル1170aおよび1170bは、より多い、より少ない、または異なる要素を備える。たとえば、取引オファリングパネル1170aおよび1170bは、詳細な説明、または詳細な説明およびオファリングをリストしたユーザに関する情報にアクセスするために使用され得るユーザインターフェース要素も備えることができる。

30

【 0 1 8 3 】

取引オファリングのタイトルはそれをリストしたユーザによって入力されたものであり、タイトル要素1172aおよび1172bはそのタイトルを表示する。写真要素1174aおよび1174bは、オファリングの、もしアップロードされていれば1つまたは複数の写真を表示する。

【 0 1 8 4 】

取引条件要素1176aおよび1176bは、ユーザが入力した取引条件を示す。少なくともいくつかの実施形態において、取引条件要素1176aおよび1176bは、オファリングを投稿したユーザが特定の条件でのカウンターオファーを進んで考慮するかどうかのしるし(たとえば、異なるフォント、色、テキストスタイル、アスタリスク、など)も含む。

【 0 1 8 5 】

40

ホールド要素1178aおよび1178bは、オファリングをホールドするためにアクティブ化され得るユーザインターフェース要素である。オファリングをホールドすることは、上でより詳しく説明された。オファーを行う要素1180aおよび1180bは、オファリングのオファーを行うためにアクティブ化され得るユーザインターフェース要素である。オファー調整要素1182aおよび1182bは、オファーを行う前にオファリングに対する提案されている取引条件のうちの1つまたは複数を調整するためにアクティブ化され得るユーザインターフェース要素である。オファリングのオファーを行うことおよびオファーを調整することは、上でより詳しく説明された。

【 0 1 8 6 】

連絡先ネイバー要素1146は、特定のユーザのすべてのネイバーにメッセージを送信する

50

ように動作する。上で説明されている連絡先要素1160aおよび1160bと同様に、連絡先ネイバー要素1146は、特定の取引オファーリングを購入または販売するようネイバーをグループとして勧誘するために使用され得る。それに加えて、連絡先ネイバー要素1146は、慈善事業、友人、または家族などの第三者の代わりに支払いを行うようネイバーを勧誘するために使用され得る。少なくともいくつかの実施形態において、未承諾通信は、ネイバー間でのみ許される。さらに、いくつかの実施形態において、近傍インターフェース1140は、特定の他のユーザを近傍から取り除くか、または非表示にし、それによりその他のユーザから未承諾通信を受信することを停止するためにユーザが使用することができる要素を備える。

【0187】

10

ネイバー追加要素1184は、ユーザをネイバーとして追加するように動作する。いくつかの実施形態において、ネイバー追加要素1184は、潜在的ネイバーを識別するために使用され得るアクティビ化されたときの検索フォームを表示する。それに加えて、いくつかの実施形態において、潜在的ネイバーが識別されたときに、ユーザは、「ネイバーになりますか?」という要求を潜在的ネイバーに送信することができる。いくつかの実施形態において、潜在的ネイバーは、潜在的ネイバーがその要求を受諾するまで近傍に追加されない。少なくともいくつかの実施形態において、ネイバーは、他のインターフェースを使用して同様に追加され得る。たとえば、いくつかの実施形態は、潜在的ネイバーのプロファイルページ上または別のロケーションに表示される近傍にユーザを追加するユーザインターフェース要素を備える。上で説明されているように、ユーザは、非ユーザがオンラインマーケット102にアカウントを作成するときにインセンティブを受信し得る。

20

【0188】

上で説明されている様々な実施形態は、例示としてのみ提供され、付属の請求項を制限するものとして解釈されるべきでない。当業者であれば、本明細書で図示され、説明されている例示的な実施形態および適用に従うことなく、また次の請求項の真の趣旨および範囲から逸脱することなく、様々な修正および変更を加えることができることを容易に認識するであろう。

【符号の説明】

【0189】

30

- 100 システム
- 102 オンラインマーケット
- 104 ユーザコンピューティングデバイス
- 104a ユーザコンピューティングデバイス
- 104b ユーザコンピューティングデバイス
- 104c ユーザコンピューティングデバイス
- 104d ユーザコンピューティングデバイス
- 106 ネットワーク
- 108 サーバ
- 109 売手ファイナンスエンジン
- 110 データベース
- 112 ローカルエリアネットワーク
- 114 コンピューティングデバイス
- 120 処理デバイス
- 122 システムメモリ
- 124 システムバス
- 126 リードオンリーメモリ
- 128 ランダムアクセスメモリ
- 130 基本入出力システム
- 132 二次記憶デバイス
- 134 二次記憶装置インターフェース

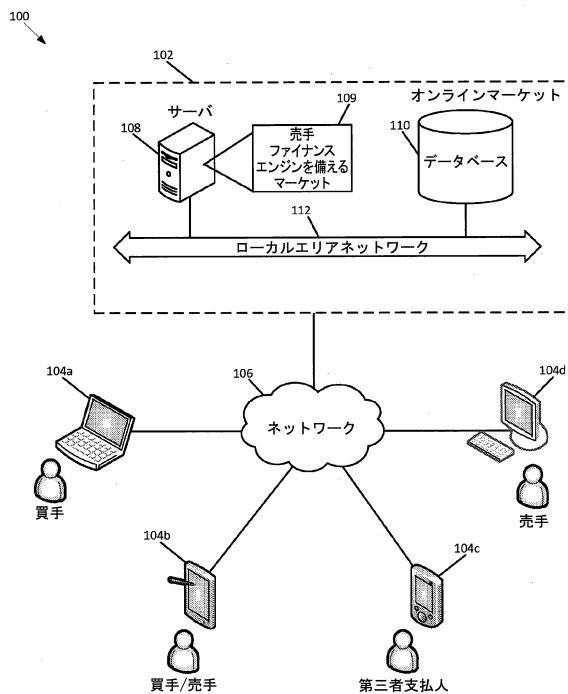
40

50

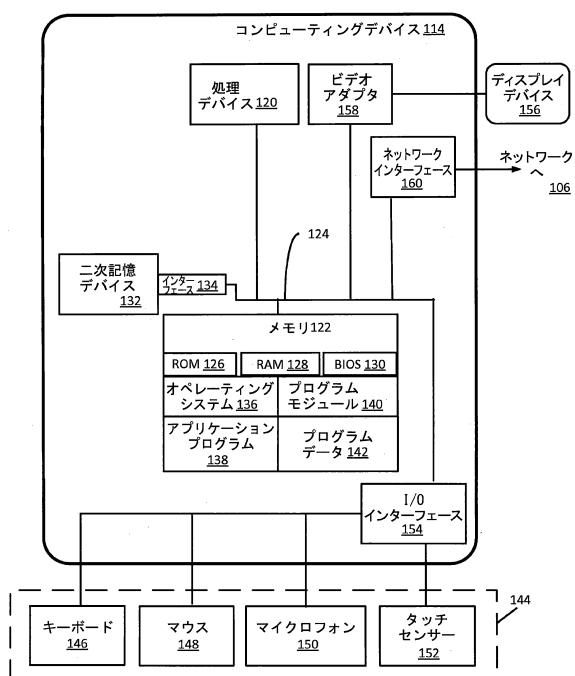
136	オペレーティングシステム	
138	アプリケーションプログラム	
140	プログラムモジュール	
142	プログラムデータ	
144	入力デバイス	
146	キーボード	
148	ポインタ入力デバイス	
150	マイクロフォン	
152	タッチセンサー	
154	入出力インターフェース	10
156	タッチセンサー式ディスプレイデバイス	
158	ビデオアダプタ	
160	ワイヤレスネットワークインターフェース	
222	オペレーション	
224	オペレーション	
226	オペレーション	
228	オペレーション	
230	オペレーション	
232	オペレーション	
234	オペレーション	20
290	アカウント管理エンジン	
292	リストイングエンジン	
294	閲覧/検索エンジン	
296	ホールドエンジン	
298	取引エンジン	
300	支払いエンジン	
302	再交渉エンジン	
304	評判エンジン	
306	保険エンジン	
308	近傍エンジン	30
310	通信エンジン	
312	ユーザインターフェースエンジン	
360	ユーザプロファイルデータ	
362	リストイングおよびカテゴリデータ	
364	取引および支払いデータ	
366	評判データ	
368	取引レビューデータ	
1140	近傍インターフェース	
1142	ネイバーリスト	
1144	オファリングリスト	40
1146	連絡先ネイバー要素	
1148	ネイバープロファイル	
1148a	ネイバープロファイル	
1148b	ネイバープロファイル	
1150a	写真要素	
1150b	写真要素	
1152a	名前要素	
1152b	名前要素	
1154a	信頼スコア要素	
1154b	信頼スコア要素	50

1156a	検証レベルバッジ要素	
1156b	検証レベルバッジ要素	
1158a	取引コイン要素	
1158b	取引コイン要素	
1160a	連絡先要素	
1160b	連絡先要素	
1170a	取引オファリングパネル	10
1170b	取引オファリングパネル	
1172a	タイトル要素	
1172b	タイトル要素	
1174a	写真要素	
1174b	写真要素	
1176a	取引条件要素	
1176b	取引条件要素	
1178a	ホールド要素	
1178b	ホールド要素	
1180a	オファーを行う要素	
1180b	オファーを行う要素	
1182a	オファー調整要素	
1182b	オファー調整要素	20
1184	ネイバー追加要素	

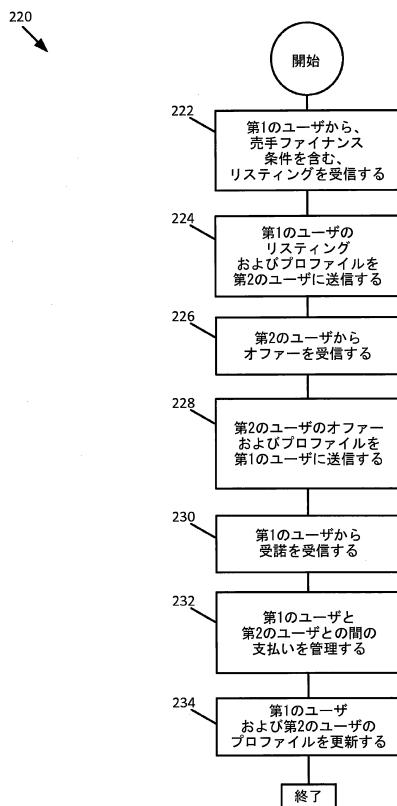
【図1】



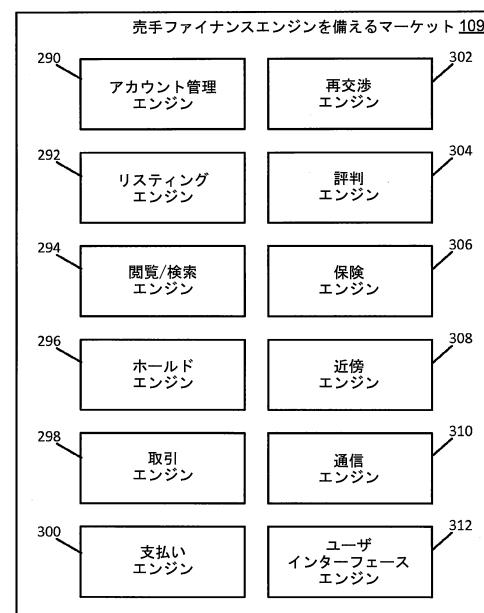
【図2】



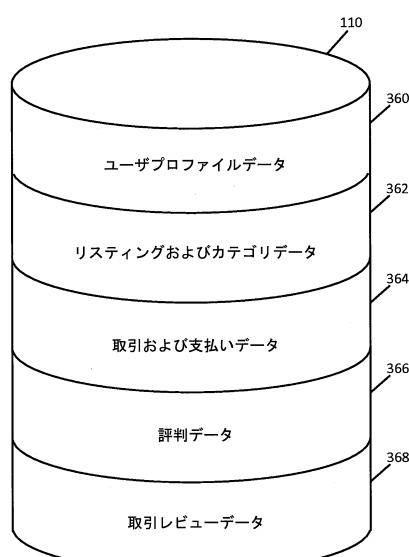
【図3】



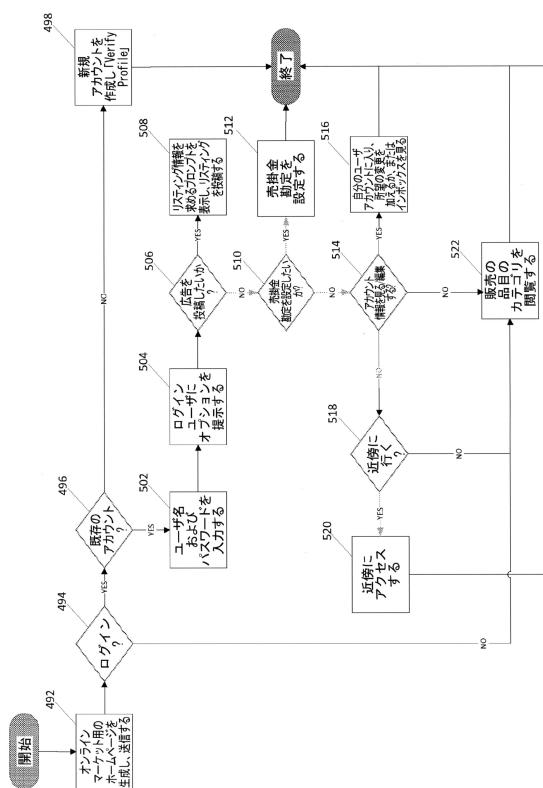
【図4】



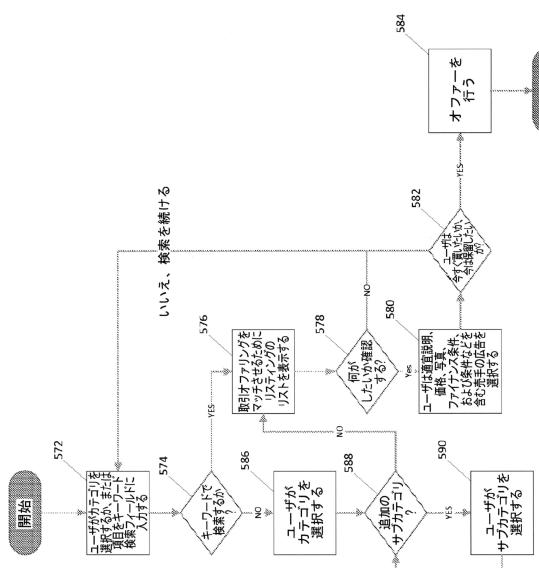
(5)



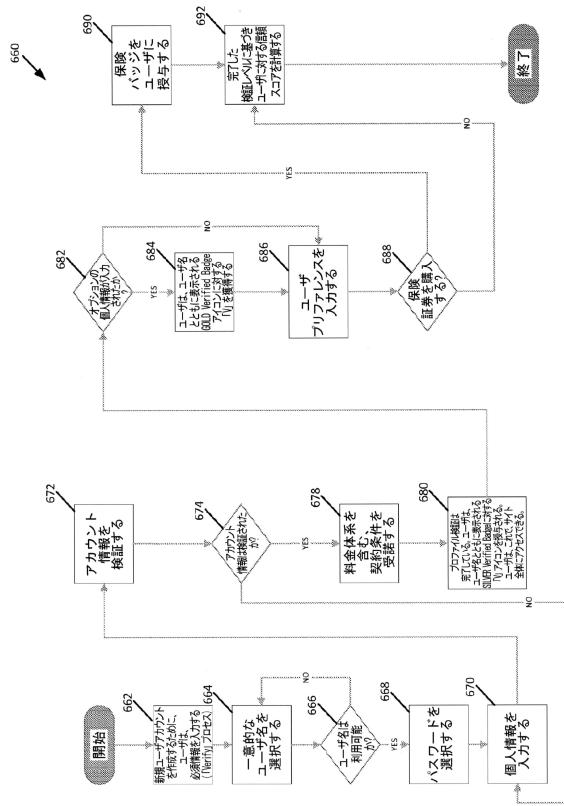
(6)



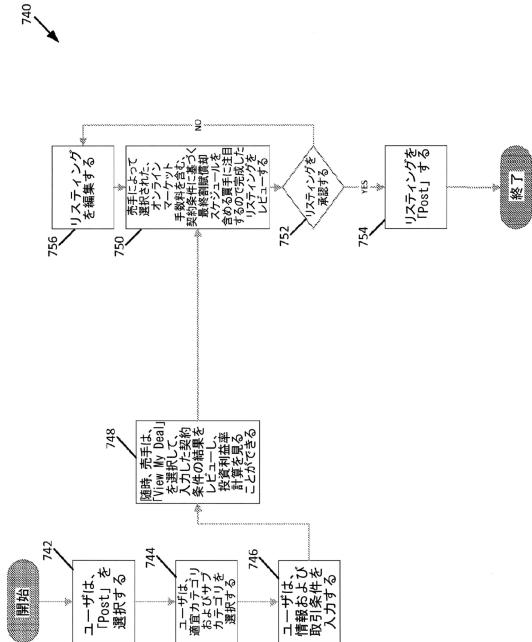
【 叁 7 】



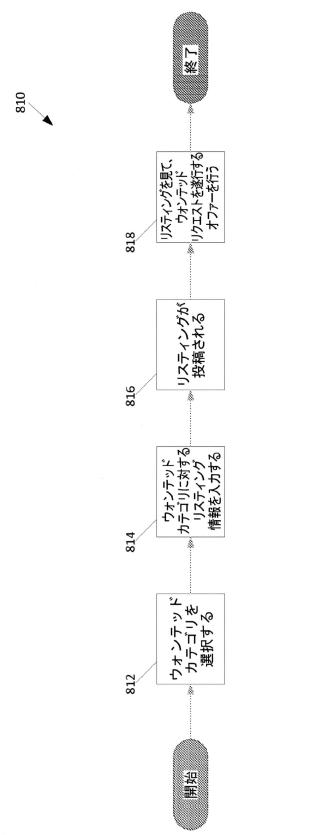
【 図 8 】



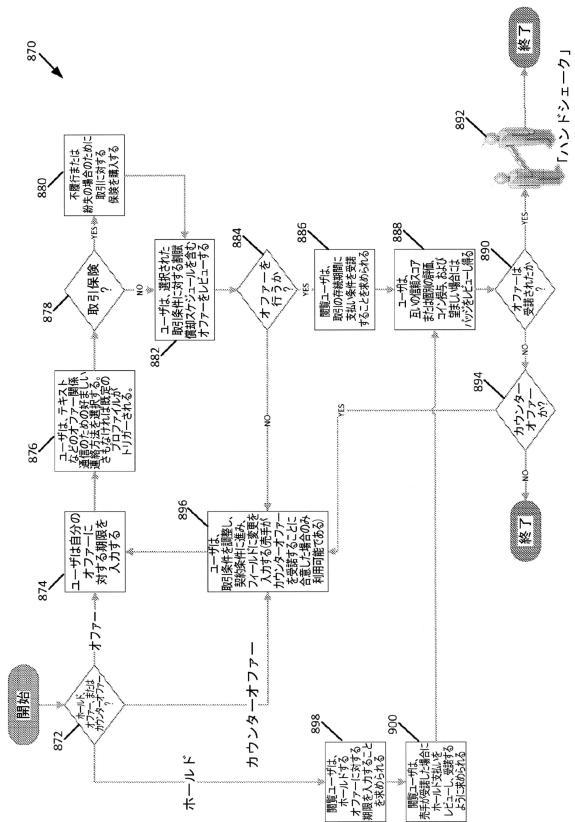
【 四 9 】



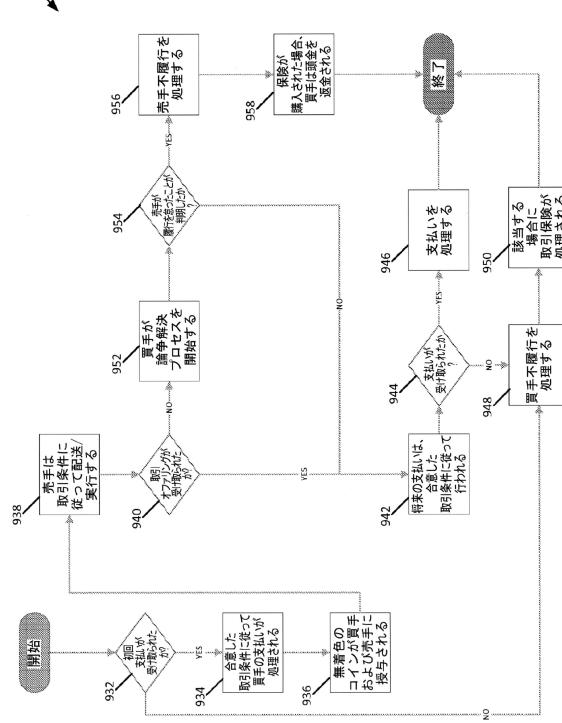
【図10】



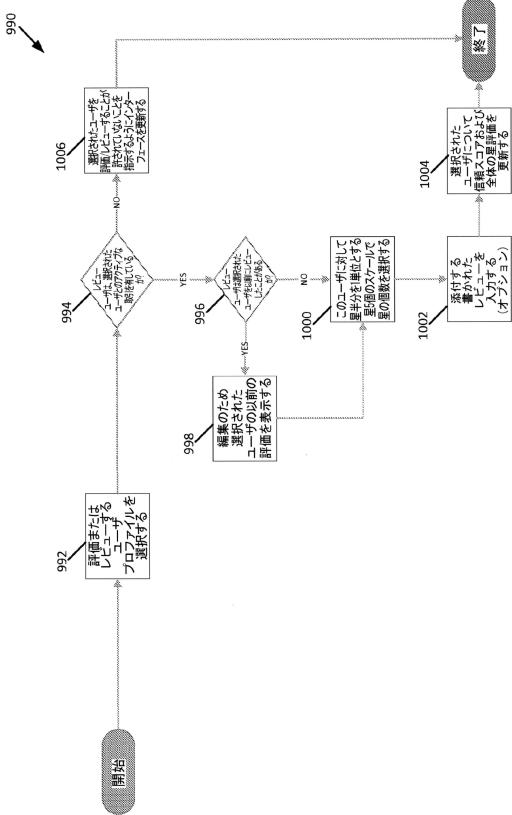
【図 1 1】



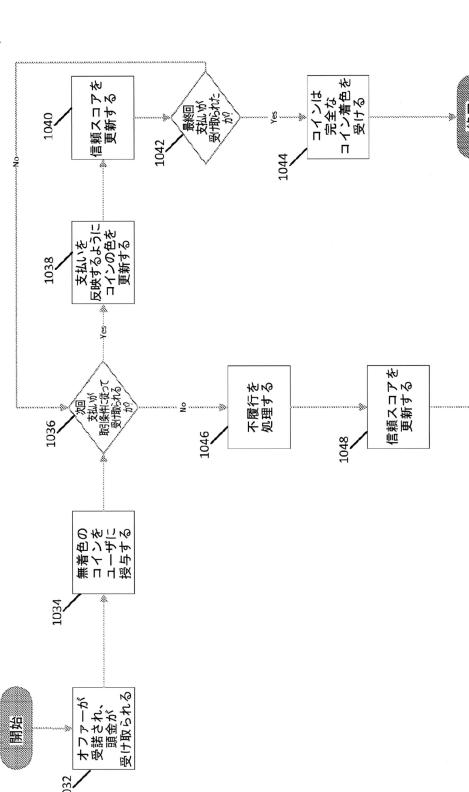
【図 1 2】



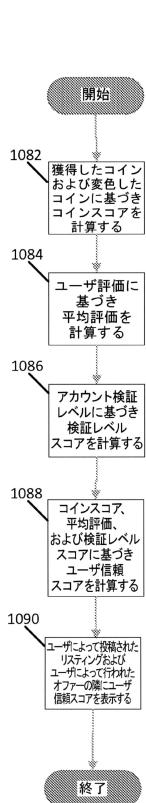
【図 1 3】



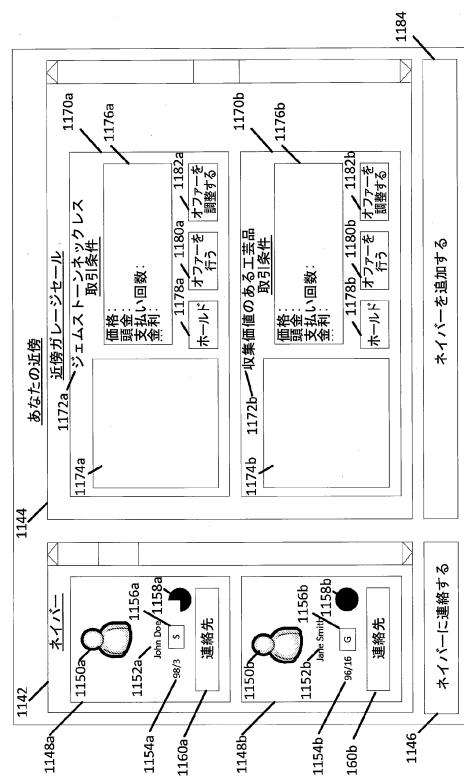
【図 1 4】



【図15】



【図16】



フロントページの続き

審査官 加内 慎也

(56)参考文献 米国特許出願公開第2014/0025563(US,A1)

米国特許出願公開第2008/0086397(US,A1)

米国特許第08706624(US,B2)

特開2001-344456(JP,A)

特開2014-099050(JP,A)

特開2003-271780(JP,A)

特表2013-536499(JP,A)

特開2003-263478(JP,A)

特開2004-199499(JP,A)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

G06Q10/00-99/00